

NATURAL
HARMONY
CLINIC
OMOTESANDO

NATURAL
HARMONY
CLINIC
OMOTESANDO

NHC式 再生医療

NHC Regenerative Medicine

ナチュラルハーモニー クリニック 表参道

所在地 〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 6-25-14
神宮前メディアスクエアビル5F

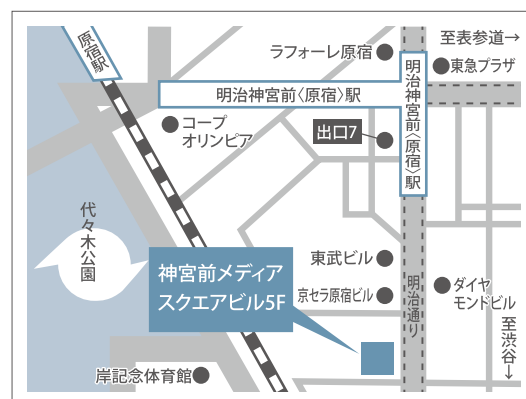
診療時間 10:00～19:00 完全予約制

休診日 日曜日

URL <http://natucli.com/>

ご予約 0800-800-4977

※当クリニックの治療は、自由診療となります。



研修用資料

この冊子は、再生医療ほか当院の施術に関わる従業員のための教育・研修用資料です。

まず、はじめにお読みください。

ナチュラルハーモニークリニック 表参道は、
幹細胞などを用いた再生医療クリニックです。

顔や身体のお悩みだけでなく、心まで癒やされるような医療を提供するために。当クリニックは身体の内側と外側から美と健康をサポートする“トータル ウェルネスクリニック”として、安全で自然な効果が期待できる先進医療「再生医療」に取り組んでいます。

幹細胞治療を含む再生医療等を提供する医療機関は、その内容（再生医療等提供計画）を提出することが義務付けられています。この再生医療等提供計画は、提供しようとする再生医療の安全性確保のため厚生労働省が認可した「特定認定再生医療等委員会」により、審査を受けます。当クリニックは承認された再生医療等計画を厚生労働省に提出し、第二種・第三種において計画番号を取得した医療機関です。

当クリニックが提供する先進の再生医療は、国内だけでなく海外においても治療を検討されている多くの方に選ばれています。

当クリニックで提供する再生医療

- ☐更年期障害に対する自己脂肪由来間葉系幹細胞による点滴療法
再生医療区分：第二種 計画番号：PB3160029
- ☐ヒト自己活性化NK細胞によるがん免疫細胞療法
再生医療区分：第三種 計画番号：PC3160198
- ☐ヒト自己活性化 $\alpha\beta$ T細胞によるがん免疫細胞療法
再生医療区分：第三種 計画番号：PC3160199
- ☐ヒト自己活性化 $\gamma\delta$ T細胞によるがん免疫細胞療法
再生医療区分：第三種 計画番号：PC3160200
- ☐自家培養真皮線維芽細胞移植術
再生医療区分：第二種 計画番号：PB3170025
- ☐多血小板血漿を用いた皮膚再生治療
再生医療区分：第三種 計画番号：PC3170143

NHC式 再生医療

〈コンテンツ〉

NHC Regenerative Medicine 〈Contents〉



● 第1章 再生医療概要

- 5 Life is Wonderful
エイジレス化する社会で健康に生きるために
- 7 人生100年の時代は目の前に
私たちの未来を救う、再生医療
- 9 人間の一生と健康について
- 11 幹細胞を使った
再生医療で期待される効果

● 第2章 NHC式再生医療

- 13 当クリニックが提供する再生医療
- 15 ナチュラルハーモニークリニック 表参道の再生医療
オーダーメイドエイジングケア医療
- 17 ナチュラルハーモニークリニック 表参道の再生医療
～安全・安心への取り組み～

● 第3章 内からの再生医療

- 19 Life is Healthful
長い人生を健康に生きるための
再生医療
- 21 自己脂肪由来
間葉系幹細胞による点滴療法
- 23 老化現象(更年期障害)に対する働き
- 25 脂肪由来間葉系幹細胞のメカニズム
- 27 治療の流れ
- 29 体験談
- 31 ヒト自己活性化NK細胞による
がん免疫細胞療法
- 33 治療の流れと体験談

● 第4章 外からの再生医療

- 35 Life is Beautiful
人生を美しく笑顔で過ごすための
再生医療
- 37 肌の再生医療 線維芽細胞
- 39 治療の流れと体験談
- 41 肌の再生医療 PRP
- 43 治療の流れと体験談
- 45 再生医療の応用でつくられた
高純度培養上清液ステムサップ

● 第5章 よくあるご質問

- 47 内からの再生医療編
- 49 外からの再生医療編

● 第6章 再生医療の組み合わせ

- 51 もっと健康に、もっと美しく
内外からの再生医療の
コンビネーション治療
- 53 その他の美容医療のご案内

Life is Wonderful

エイジレス化する社会で 健康に生きるために

科学の進化と、環境の変化が
私たちにもたらすものは、
平均寿命100年という
これまで体験したことのない社会。

ただ、寿命が延びるだけで
私たちは幸せになれるでしょうか。

健康な身体、健やかな心、
そして年齢にとらわれない
若々しさがあつてこそ、
私たちの人生は豊かになっていきます。

想像をはるかに超える高齢社会。
もう、運動や食生活に
気をつけるだけでは、
老化をくい止めることはできません。

いま最も注目されているのが、再生医療。

これまで手だてがなかった
病気の治療や予防、
失われた機能の回復が
期待されています。

生きている限り、より長く健康でいたい。
寿命だけでなく健康寿命を延ばすこと。
そして、素晴らしい人生を過ごしていただきたい。
私たちの変わらぬ願いです。

人生100年の時代は目の前に

私たちの未来を救う、再生医療

いま、世界中で再生医療の研究、臨床応用が加速度的に進んでいます。

最新の研究では、老化を遅らせ、寿命を延ばす可能性を持つさまざまな物質が発見され、それを臨床に活かすテクノロジーが次々に開発されています。

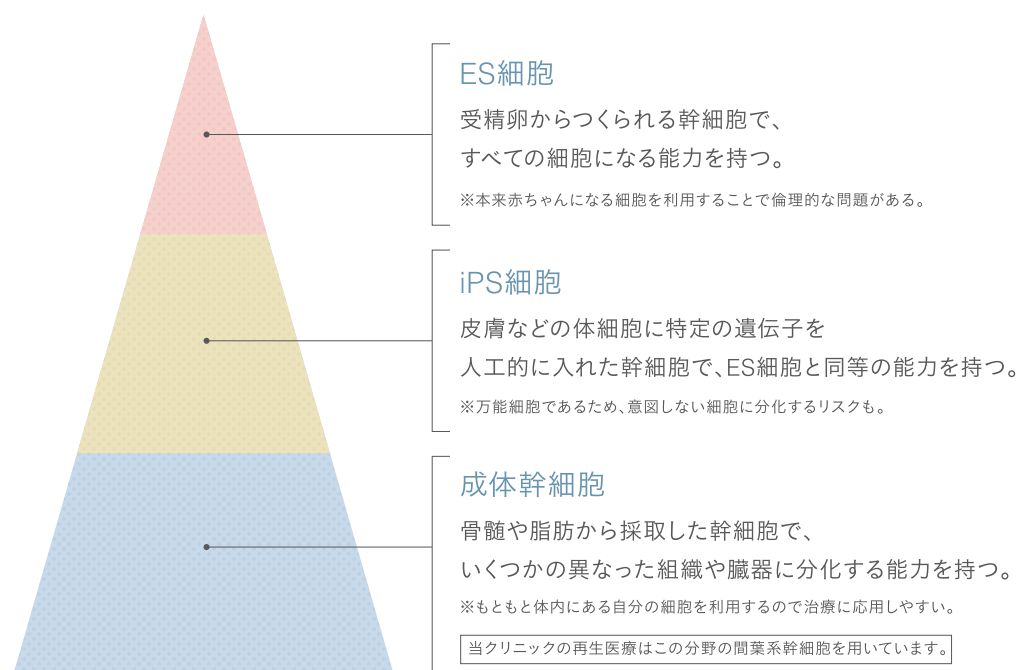
再生医療とは

細胞や組織を補充することによって、病気やケガなどで失われた組織や臓器を再生させ、機能を回復させようという医療のこと。現在世界中の研究者がしのぎを削っているのが再生医療へつながる研究分野で、一部は臨床試験の段階へ。これまで治療法がなかった疾患への新たな治療の可能性を広げると注目を集めています。

再生医療にかかわる3種類の幹細胞

私たちの身体は約60兆個の細胞からできています。

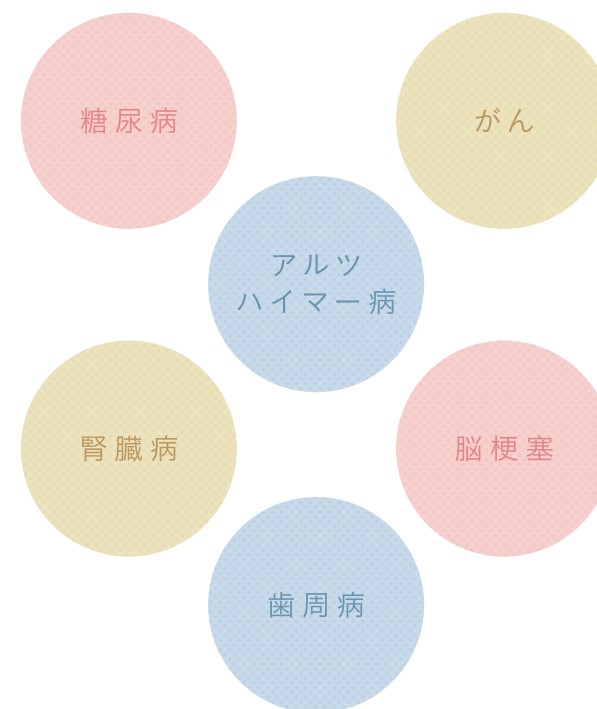
細胞には一つひとつの寿命が短いものもあれば、失われた細胞を再び補充する能力を持った細胞も。この特別な能力を持つ細胞が「幹細胞」です。



私たちが提供する 成体幹細胞を用いた治療

成体幹細胞にはいくつか種類がありますが、その代表的なものが「間葉系幹細胞」です。1970年代に骨髄の中にあることがわかり、脊椎損傷や肝機能障害などの治療への実用化・臨床研究が行われてきました。ところが骨髄由来の幹細胞は採取できる量が限られているため、より大量に確保できる脂肪由来の「間葉系幹細胞」に注目が集まるように。2001年には骨髄由来と同等の能力があると判明。さらに近年、神経細胞や肝臓に分化することも知られ、心筋や神経、骨の再構築などの応用が期待されています。また免疫抑制作用を持つことや腫瘍に集積する性質も報告され、成体幹細胞を移植した後の拒絶反応防止に利用する研究や、がんの遺伝子治療薬を患部に届ける役割を利用する研究など、根治困難な病気の治療への実用化に向けた取り組みが進んでいます。

治療への応用が期待される主な病気

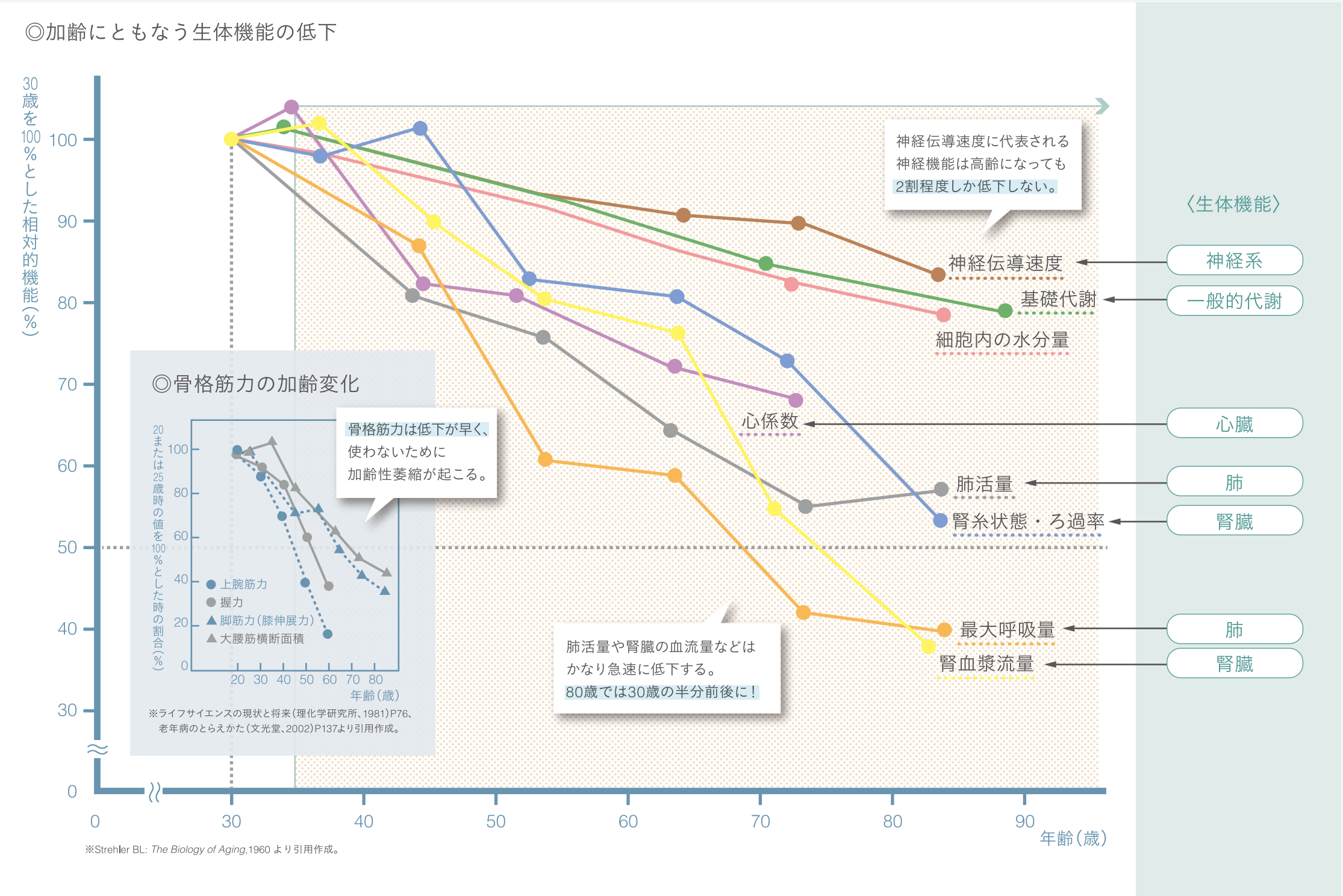


幹細胞研究と 日本の再生医療の歴史

1960年代前半
カナダの放射線学者であるティルとマカロックらの研究により幹細胞の概念が確立される
1960年代後半
米ワシントン大学のトーマスらが白血病患者に骨髄移植の治験を開始 1970年代にその手法を確立
1970年代
骨髄の中に間葉系幹細胞の存在を確認
1975年
ガードン教授はカエルの皮膚細胞から採取した核を2段階にわたって卵子に移植 世界で初めて、大人の細胞核から「クローン動物」を生み出すことに成功
1998年
米ウィスコンシン大学のトムソンらが不妊治療(体外受精)で余った受精卵を用いてES細胞を樹立
再生医療の現実化に期待が高まる
2001年
脂肪組織中から間葉系幹細胞を発見
2007年
京都大学の山中教授らが患者自身の体細胞に簡便な遺伝子操作を行うことで人工的にES細胞同様の動きをするiPS細胞を開発
再生医学研究が臨床応用に向けて注目を集める
2014年
世界で初めてiPS細胞からつくった網膜色素上皮細胞の移植手術を実施
2014年11月
厚生労働省により「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」を施行 人の生命及び健康に与える影響の程度に応じ、「第一種再生医療」「第二種再生医療」「第三種再生医療」に3分類して、それぞれ必要な手続きを定める

人間の一生と健康について

高齢になると人でも動物でも身体の中のかながさまざまな機能が衰えてきます。
衰え方には個人差がありますが、加齢により私たち人間の生体機能が
平均的にどのように変化するかを見てみましょう。



グラフからもわかるように、私たちの生体機能はすべて同じように衰えるわけではありません。たとえば神経機能は高齢になってもそれほど低下しませんが、骨格筋力や肺活量、腎臓の血流量は急速に低下していきます。高齢になると思わぬケガをすることが多くなるのは、神経機能は維持できているため頭ではわかっていても、身体(筋力)の動きがついてこないことも原因のひとつです。また生体機能はひとつが衰えると、他の機能にも影響を及ぼし身体全体の衰えにつながります。

生体機能の加齢変化

～リービッヒの最小律とドベネックの桶より～

人間の生体機能を水を満たした木桶に例えると、一枚の板を各機能と考えて、どれか一つの機能でも低下すると、人間は一番低下した機能の分までしか生体機能の維持が難しくなる。このような説が報告されています。

若いときはバランスよく機能が保たれている状態

加齢により、一部の機能が低下している状態

腎臓機能
神経機能
筋肉機能
心臓機能

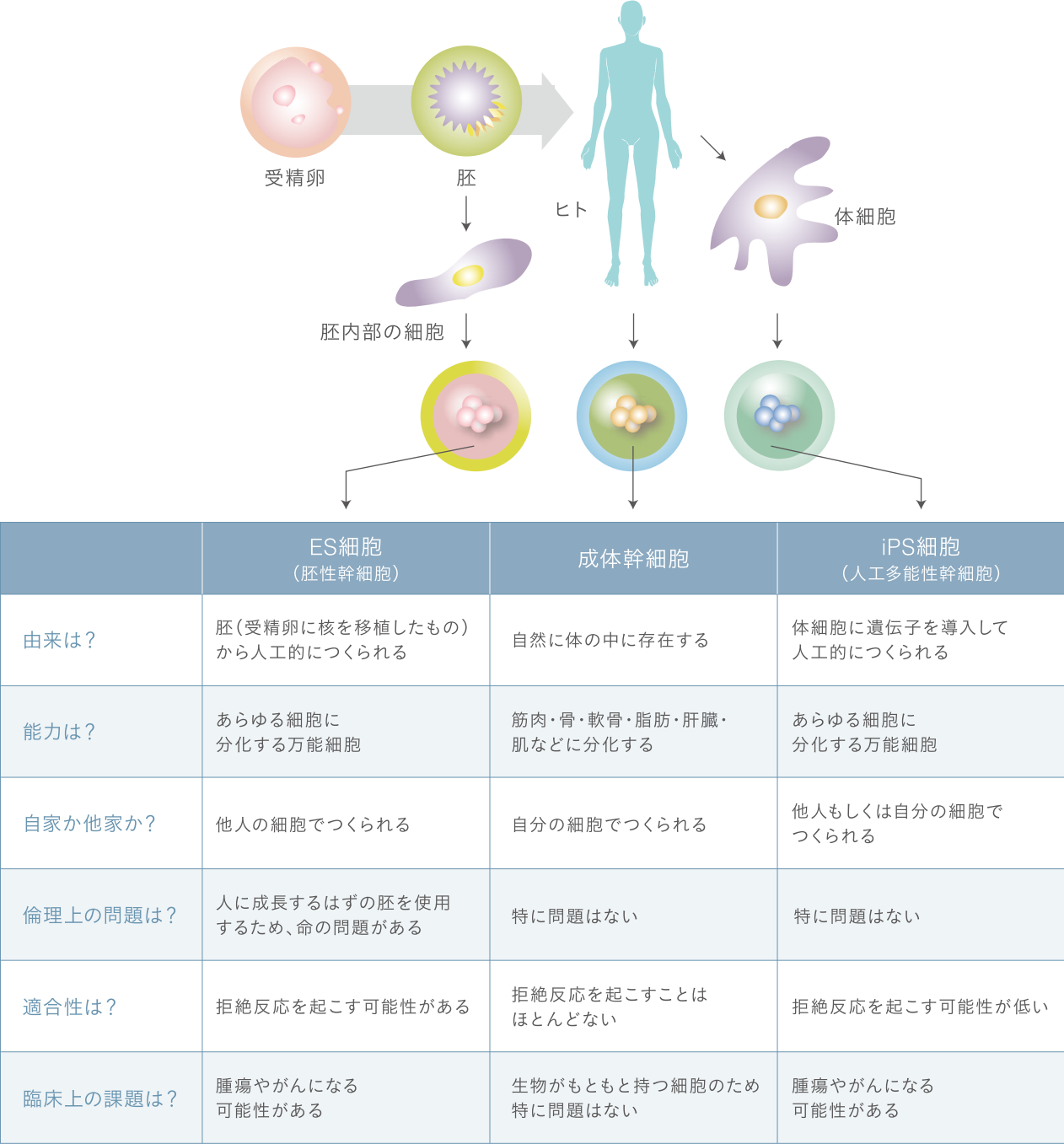
リービッヒの最小律は、植物の生長速度や収量は、必要とされる栄養素のうち、与えられた量のもっとも少ないものだけにのみ影響されるとする説。ドイツの化学者、ユーストゥス・フォン・リービッヒが提唱。リービッヒの最小律をわかりやすく説明するものとして、ドベネックの桶が知られている。

30代以降に低下する生体機能を維持する
ひとつの選択肢として、再生医療があります。

幹細胞を使った 再生医療で期待される効果

いま再生医療で注目されている幹細胞は3種類ありますが、それぞれに由来や能力、倫理上の問題、臨床上の問題などに違いがあります。

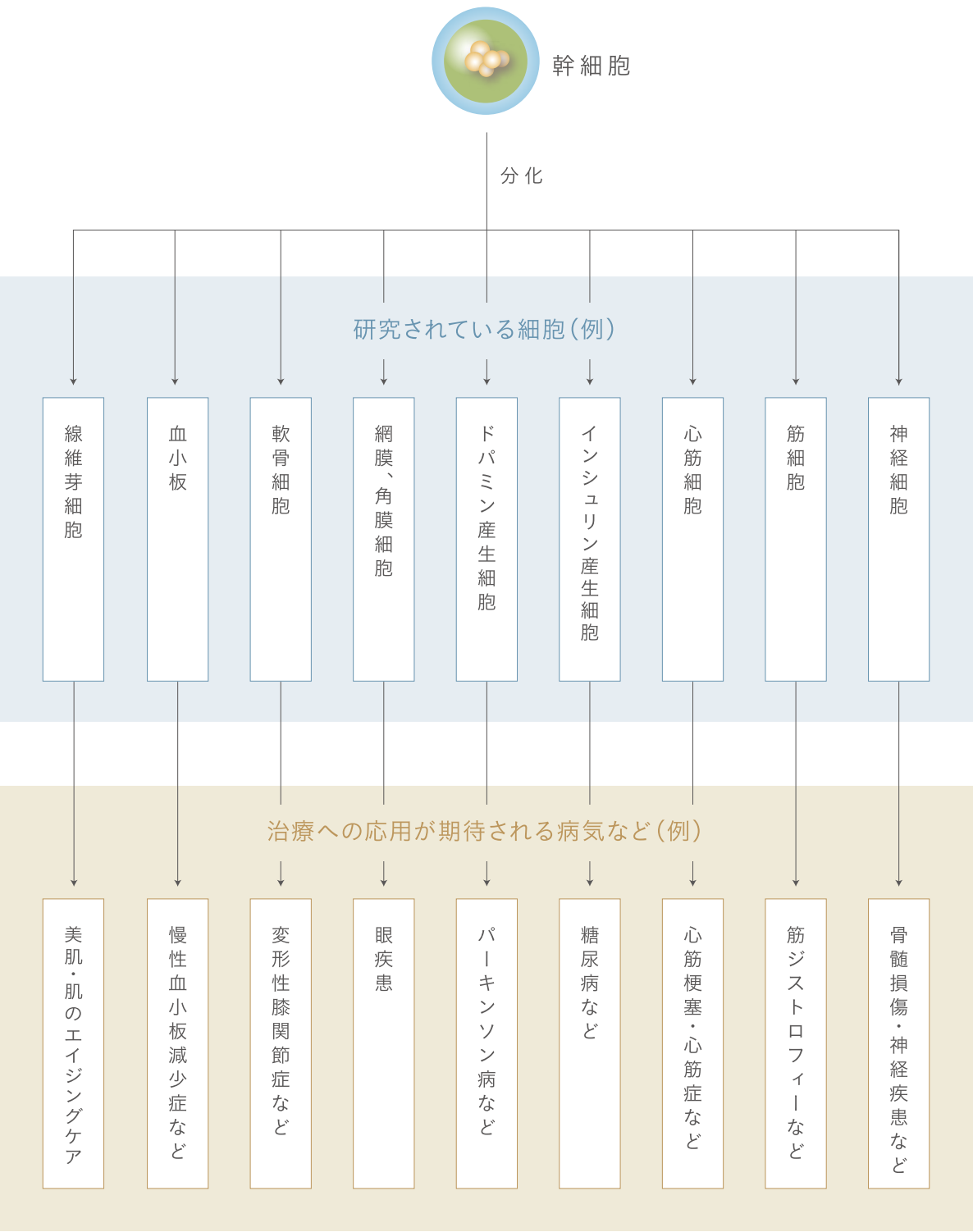
3種類の幹細胞の特徴（メリット・デメリット）



当クリニックの再生医療はこの分野の間葉系幹細胞を用いています。

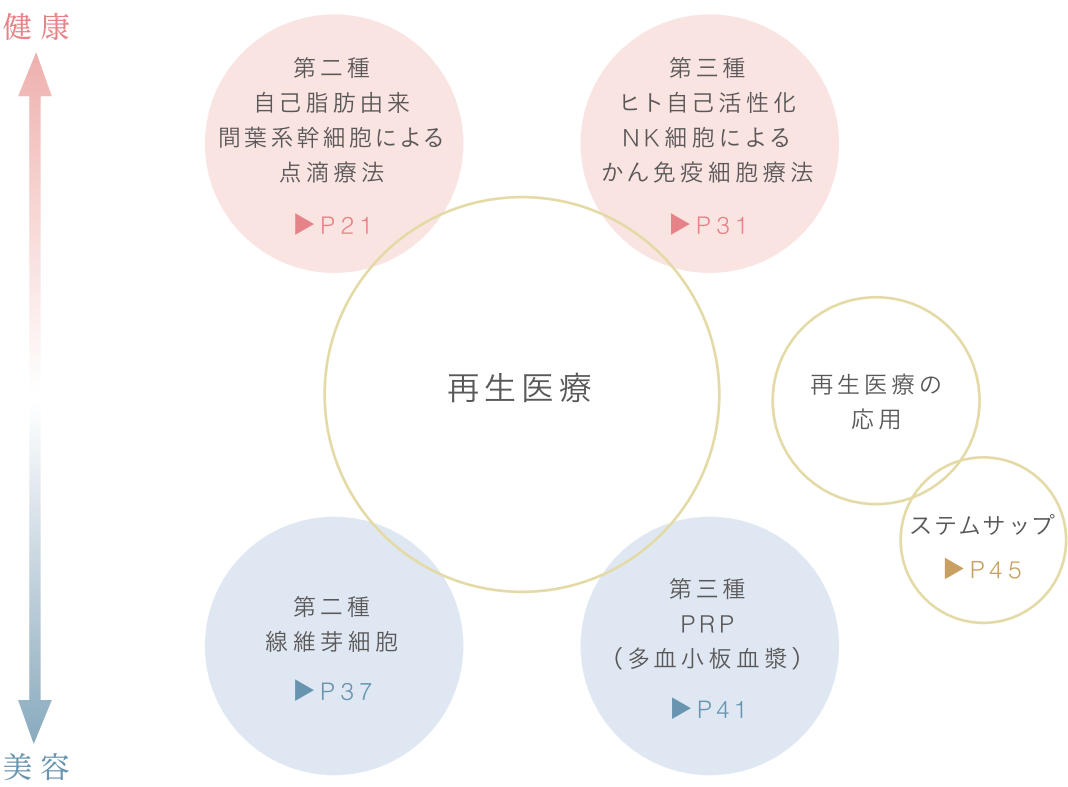
臨床応用の可能性と期待される効果

幹細胞が特定の細胞に変化することを「分化する」と言います。
幹細胞は分化する前の状態で、さまざまな細胞に分化することが研究により報告されています。



当クリニックが提供する再生医療

ナチュラルハーモニークリニック 表参道は、医療や美容を通して、男性、女性にかかわらず、一人ひとりの人生をより豊かなものにするための“トータル ウェルネスクリニック”です。顔や身体の悩みだけでなく、心まで癒やされるような医療を提供したいという想いから、より安全で自然な効果が望める次世代の医療「再生医療」に取り組んでいます。当クリニックは「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」を遵守し、厚生労働省により再生医療第二種と再生医療第三種の提供計画書が受理されています。一人ひとり異なるさまざまな症状を改善・予防するために、再生医療と組み合わせて最適な治療をご提供します。



当クリニックの再生医療等提供計画の計画番号及び再生医療の名称

更年期障害に対する自己脂肪由来間葉系幹細胞による点滴療法		ヒト自己活性化NK細胞によるがん免疫細胞療法	
治療・研究の区分	治療	治療・研究の区分	治療
再生医療の区分	再生医療第二種	再生医療の区分	再生医療第三種
計画番号	PB3160029	計画番号	PC3160198

ヒト自己活性化αβT細胞によるがん免疫細胞療法		ヒト自己活性化γδT細胞によるがん免疫細胞療法	
治療・研究の区分	治療	治療・研究の区分	治療
再生医療の区分	再生医療第三種	再生医療の区分	再生医療第三種
計画番号	PC3160199	計画番号	PC3160200

自家培養真皮線維芽細胞移植術		多血小板血漿を用いた皮膚再生治療	
治療・研究の区分	治療	治療・研究の区分	治療
再生医療の区分	再生医療第二種	再生医療の区分	再生医療第三種
計画番号	PB3170025	計画番号	PC3170143

再生医療第一種

ES細胞やiPS細胞、遺伝子治療など、人命や健康に与える影響が明らかにされていない研究や臨床などを法律に定められた安全性を確保した上で行っている。大学病院などの研究機関に相当します。

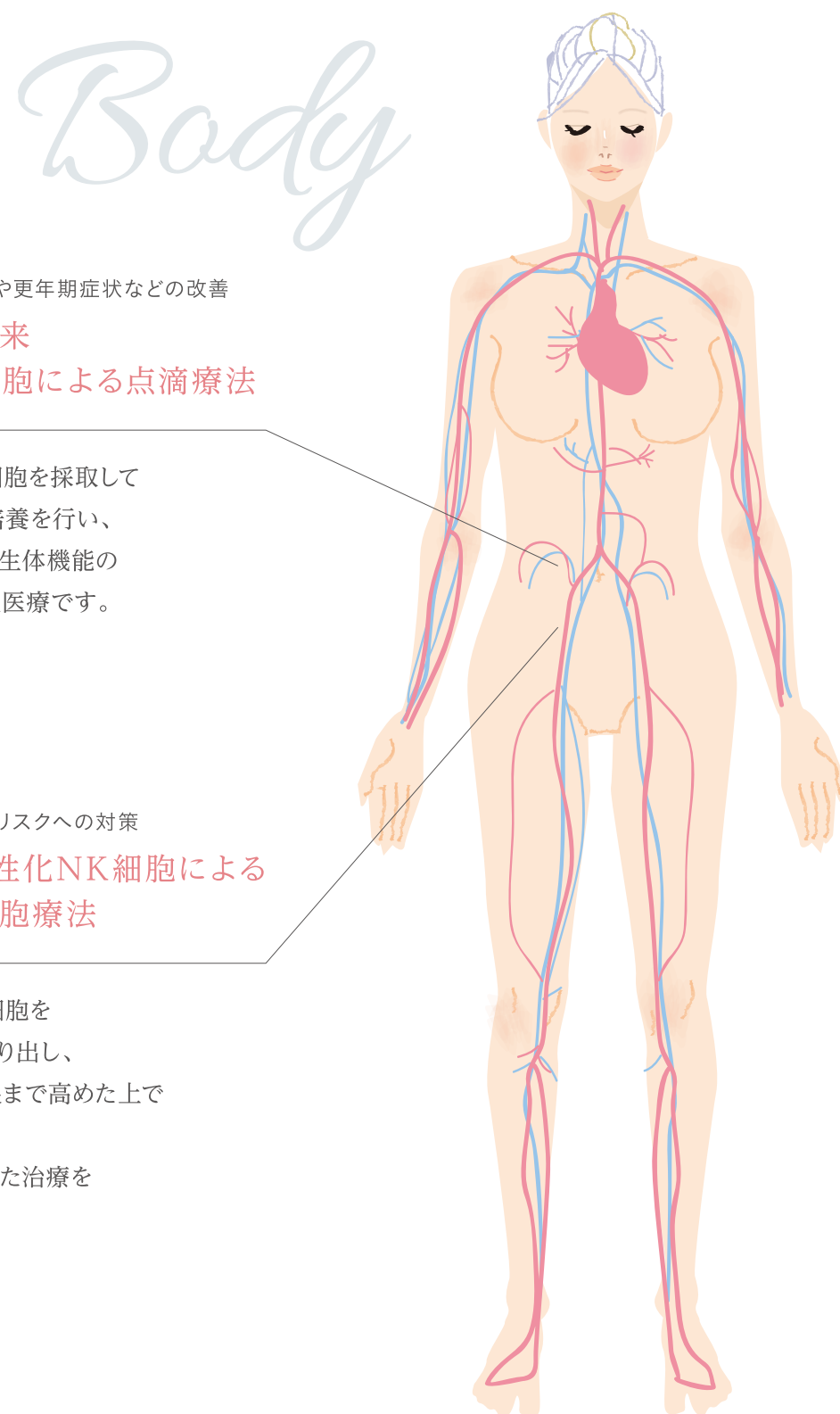
再生医療第二種

骨髄・脂肪由来の成体幹細胞など自己の幹細胞を利用する再生医療を法律の安全性を確保した上で行っている。第二種の提供計画書が受理されたクリニックはごくわずかです。

再生医療第三種

幹細胞をつくる副産物などにより、第一種・第二種以外の再生医療を安全性を確保した上で行っている。第三種の医療を行っているクリニックは増加傾向にあります。

ナチュラルハーモニッククリニック 表参道の 再生医療 オーダーメイドエイジングケア医療



加齢による症状や更年期症状などの改善

自己脂肪由来 間葉系幹細胞による点滴療法

ご自身の脂肪細胞を採取して
専用の施設で培養を行い、
点滴で投与して生体機能の
向上を図る再生医療です。

▶ P 21

将来のがん発生リスクへの対策

ヒト自己活性化NK細胞による がん免疫細胞療法

ご自身の免疫細胞を
採血によって取り出し、
数と質を最大限まで高めた上で
体内に戻す
NK細胞を使った治療を
行っています。

▶ P 31

私たちの身体はだれ一人として同じではありません。また、生き方や暮らしもそれぞれ違います。
いま健康を取り戻すために、この先の健康を維持するために。ナチュラルハーモニック
クリニック 表参道では、一人ひとりのライフステージに合わせて、さまざまな角度から再生
医療、そして再生美容と組み合わせた解決策をご提案しています。

毛髪再生

ホルモン剤や育毛剤を使用せずに薄毛を治療
ステムサップ

皮膚科臨床と再生医療研究における
長年の経験と技術から生み出した、
「ステムサップ」という幹細胞培養上清を
使ったオリジナル治療法です。

▶ P 45

肌再生

肌細胞を移植して、シワ・たるみ・ハリ・ツヤを改善
線維芽細胞

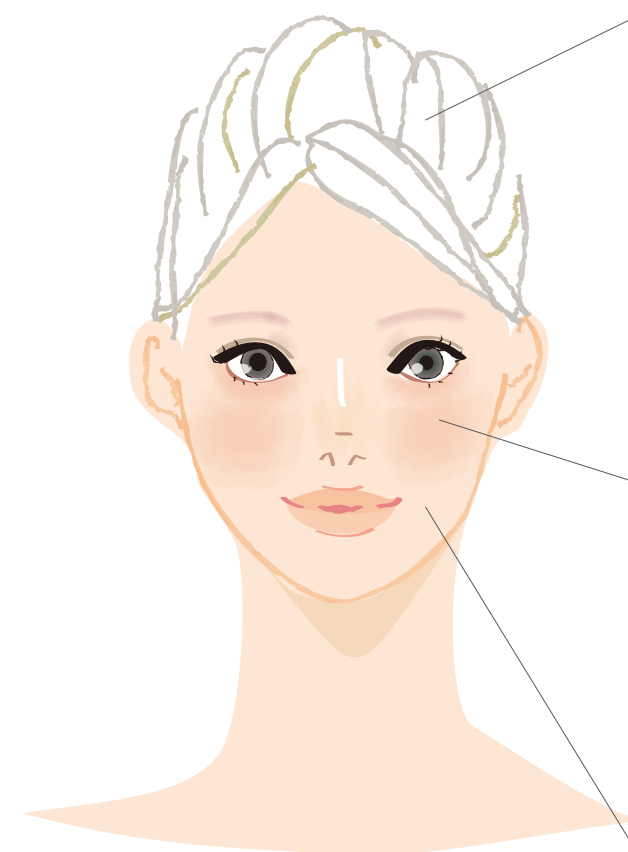
ご自身の「線維芽細胞」を採取したのちに、
専用の施設で増殖・培養し、
加齢の気になる部分に移植する
治療法です。

▶ P 37

PRPを用いて、シワ・シミ・肌の凸凹を改善
PRP（多血小板血漿）

ご自身の血液を採取したのちに、
遠心分離機で「PRP（多血小板血漿）」を
取り出し、加齢の気になる部分に
注入する治療法です。

▶ P 41



～安全・安心への取り組み～

トータル ウェルネスクリニックとして

いま顕在化している患部や悩みのある身体の一部を診るだけでなく、
この先の人生を考え、身体全体を健やかに維持するために。
当クリニックでは、患者の方の身体と気持ちを第一に考え、
きめ細かなカウンセリングを行い、充分にご納得いただいてから治療を行っています。



提携研究所

当クリニックで治療を受けられる方の細胞培養は、
長い実績を持つ国内屈指の信頼できる研究所に委託して行っています。



クリニック内施設

当クリニックはすべての施設において、来院者のプライバシーを守りながら、
安全にしかも安心して快適に治療を受けていただけるように配慮しています。



再生医療のための特別室と
施術を行う無菌ルームを完備。



プライバシーを重視した、
カウンセリングルーム。



最新の設備を充実させた、
広々とした施術ルーム。

ソファに座って、
ゆったりくつろぎながら施術を
受けられる点滴ルーム。



Life is Healthful

長い人生を 健康に生きるための 再生医療

かつては人生50年でしたが、
いまではおよそ倍の長さに。

人間の機能的な成長は
20歳前後でピークを迎え、
そこから老化がはじまります。

人生も半ばを過ぎると、
さまざまな不調が
身体にあらわれてきます。
それは当然のことだと言えるでしょう。

より健やかな状態で
一生を過ごすために、
日進月歩で進化を続ける再生医療。

病気やケガで失われた
身体機能を回復させ再生する
幹細胞による治療。

2人に1人が罹患する
がんの発生などを抑えるNK細胞を
活性化させる免疫療法。

いまはもう、
健康に長生きするための
革新的な医療が受けられる
時代なのです。

自己脂肪由来 間葉系幹細胞による点滴療法

もともと私たちの体内にある脂肪幹細胞は、脂肪組織だけでなく骨や軟骨、心筋細胞、また血管を形づくる細胞に分化する能力を持っています。その力を活かしたさまざまな組織の再生医療が進められています。脂肪幹細胞を使った治療は、加齢により衰えた組織の修復・再生、病気、ケガにより失われた機能回復を目指すものです。当クリニックにおいても、更年期障害をはじめとするエイジングによる身体の不調を改善するための点滴療法を行っています。治療を受けられた方の投与後の状態、さらには症状の変化と向き合い、QOL(生活の質)の改善を重視しながら治療をしていきます。

衰えた組織や機能の修復・再生のための治療

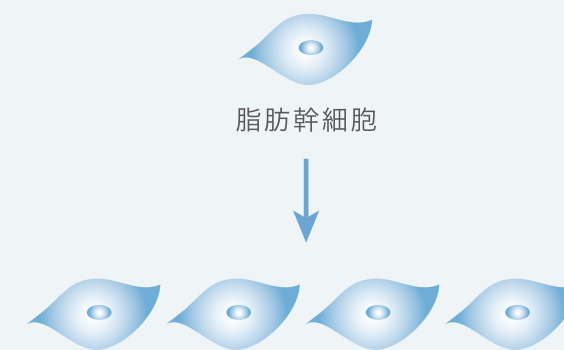
治療を受けられる人の脂肪幹細胞を採取し、培養を行い、点滴で投与して生体機能の向上を図る治療、それが「自己脂肪由来間葉系幹細胞による点滴療法」です。脂肪幹細胞を増殖・活性化させた最適な状態の幹細胞を1回につき約8,000万個～1億5,000万個投与します。更年期障害をはじめとするエイジングによる身体の不調を改善することを目的としています。

脂肪幹細胞の2つの特性とは

脂肪幹細胞には「自己複製能力」と「分化能力」の大きな2つの特性があります。同じ特性を持つ成体幹細胞として、他にも臍帯血、胎盤、骨髄がありますが、とりわけ脂肪幹細胞は採取が容易で多くの量を採取できることで注目を集めています。

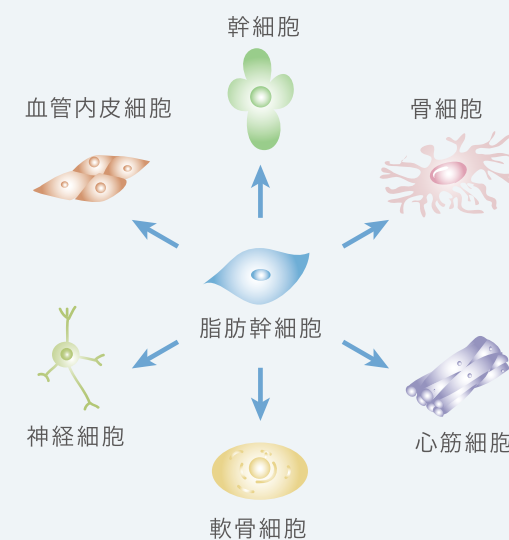
脂肪幹細胞① 同じ幹細胞が増殖する 自己複製能力

幹細胞は分裂をくり返すことにより、自分と同じような形と能力を持つ別の細胞をつくり出すことができます。



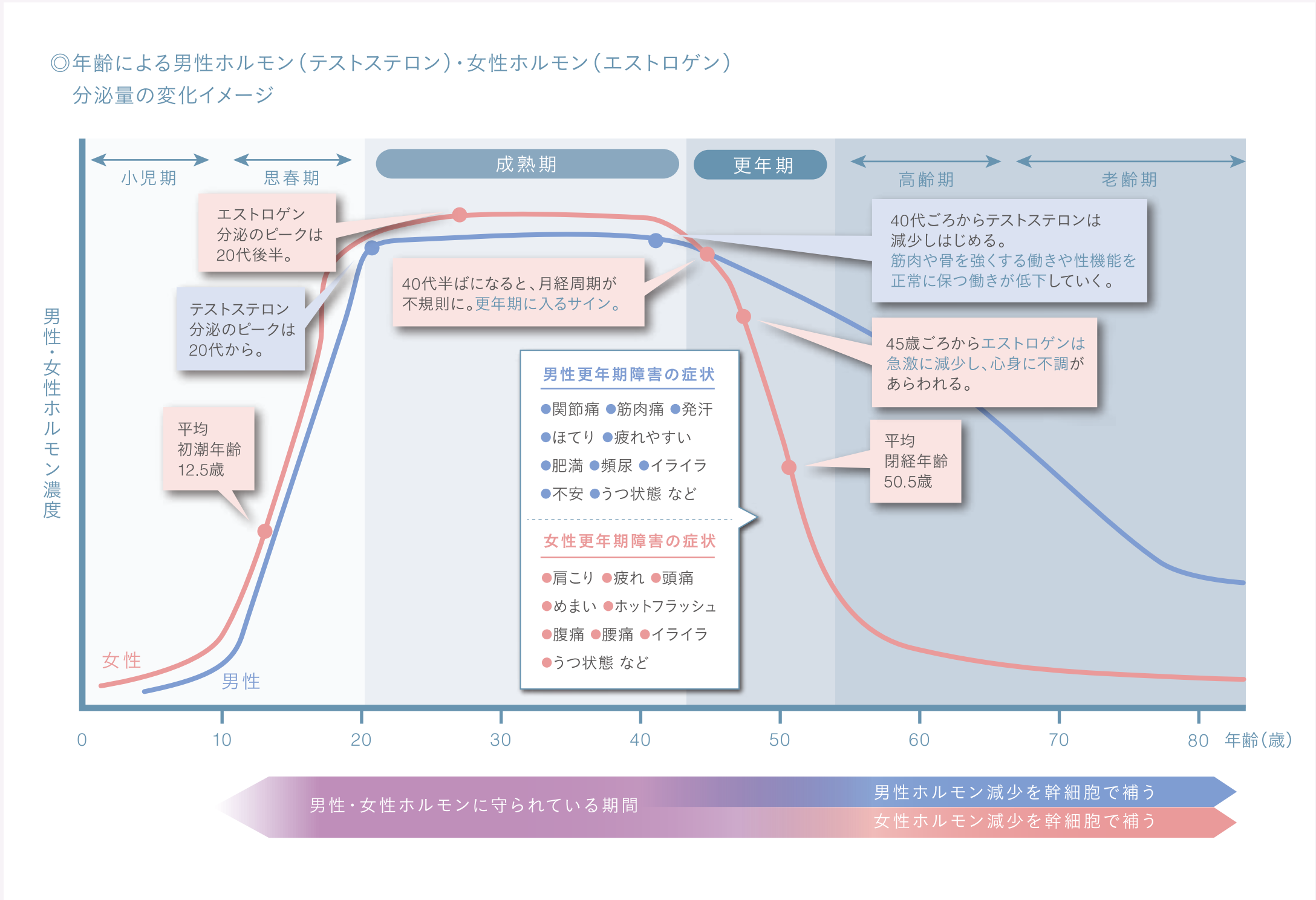
脂肪幹細胞② 他の組織細胞に変化する 分化能力

脂肪幹細胞は、脂肪細胞だけでなく、必要に応じて、身体のさまざまな組織細胞に変化することができます。



老化現象（更年期障害）に対する働き

加齢とともに私たちの身体に起こる老化現象のひとつに更年期障害があります。
個人差はありますが、男性は男性ホルモン量の低下がはじまる40歳以降、女性は女性ホルモンが急激に減少する閉経をはさんだ45歳～55歳の約10年間にさまざまな症状が起こります。



更年期障害の治療法は大きく分けて3つあります。

1 つ目は、ホルモン充填療法。減少した女性ホルモン（エストロゲン）や男性ホルモン（テストステロン）を補充することで症状を和らげます。

2 つ目は、漢方薬による治療です。東洋医学から生まれた漢方は、症状の改善に役立つといわれています。ホルモン充填療法がづらい方や、複数の症状を訴えている方に試みられる治療法です。

3 つ目は、抗うつ薬・抗不安薬などによる治療です。うつや不安などの精神神経症状が主な症状の場合や、ホルモン充填療法の効果が感じられない場合に処方されます。

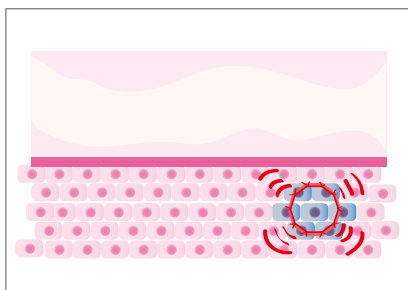
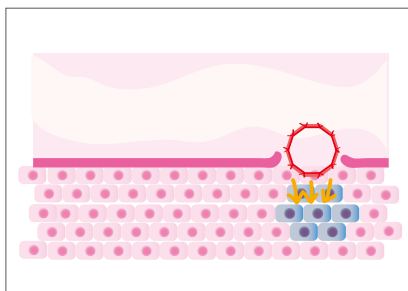
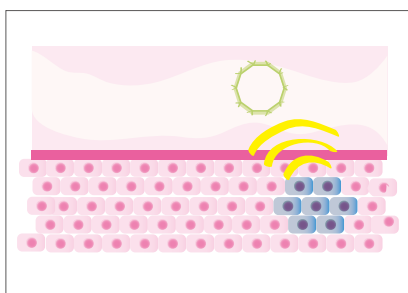
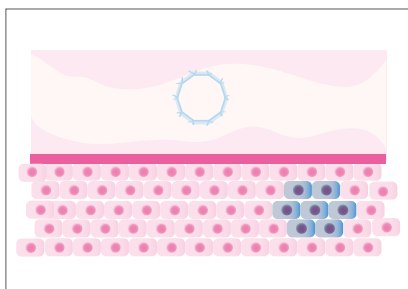
最近 は、4つ目の選択肢として、再生医療が注目されています。自己脂肪から取り出した幹細胞による点滴により、更年期障害の症状、さらに更年期以降の組織の修復・再生能力の衰えの改善や予防を目的とする治療です。ここ数年、再生医療を行うクリニックも増えてきましたが、当クリニックのように厚生労働省が医療計画を受理したクリニックはまだ数少ないのが現状です。

脂肪由来間葉系幹細胞のメカニズム

脂肪細胞から取り出した幹細胞には、病気やケガで失われた細胞を新しく補うという性質があります。

脂肪幹細胞は血管やリンパ管の中を移動し、損傷された部位を自ら探して、修復・再生のために向かっていく性質があり、これを「ホーミング効果」と呼んでいます。

◎幹細胞のホーミング効果



1 血管内をパトロール

血管に注入された幹細胞は血液内部を循環。免疫機能からの攻撃を避ける因子を出しながら、血管の中を約3ヵ月間見回ります。

2 患部からの情報をキャッチ

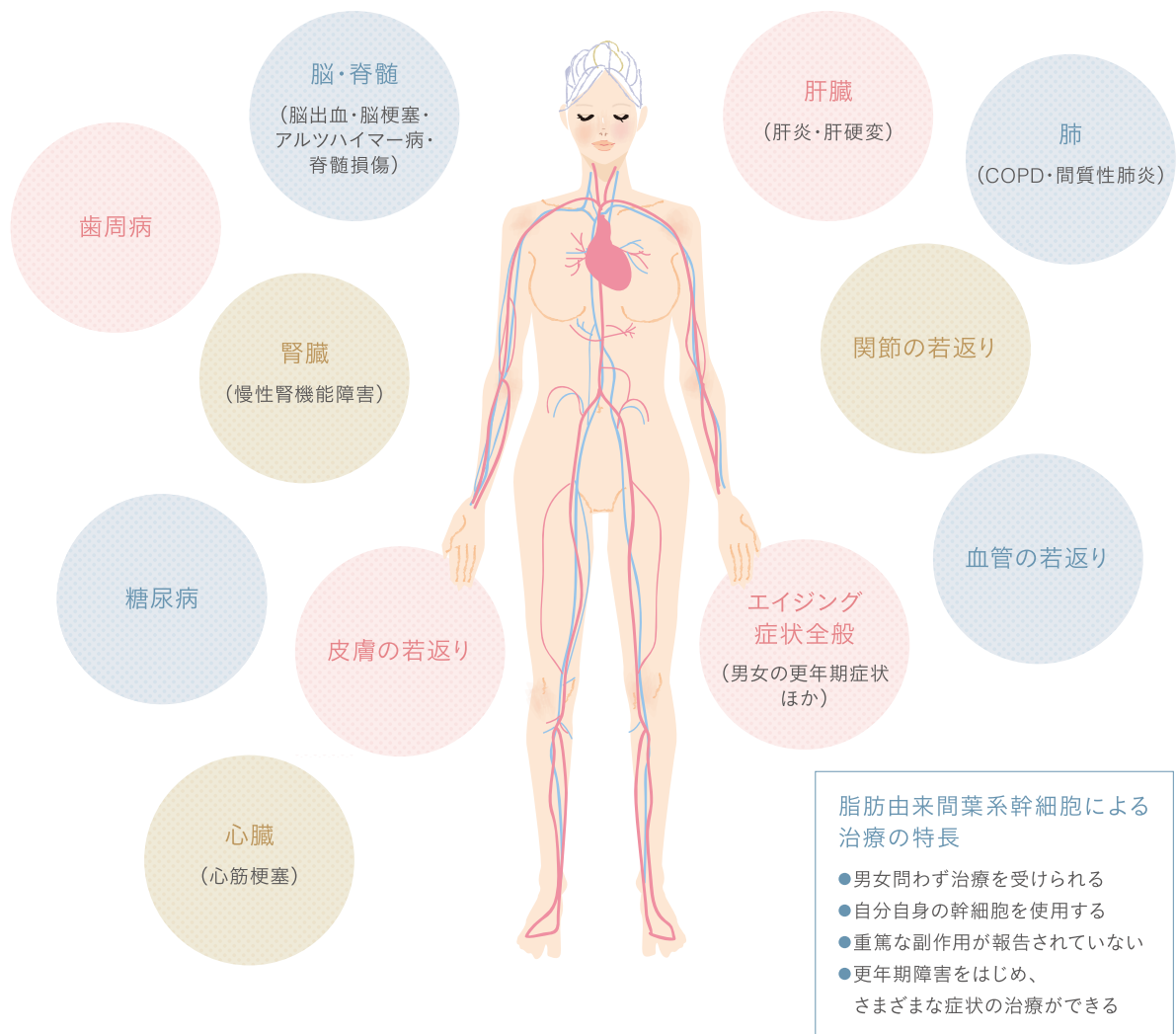
幹細胞は患部から出ている信号を細胞表面の受け皿でキャッチ。血管内の幹細胞が患部に集まってきます。

3 内壁をこじ開けてアプローチ

血管の内側にくっつき壁をこじ開けて、患部へ向かって飛び出し、患部の細胞の組織に入り込んでいきます。

4 患部の細胞を修復・再生

幹細胞は患部の組織の中でサイトカインを放出して細胞を修復・再生。約3～4ヵ月で目的の細胞に変化していきます。

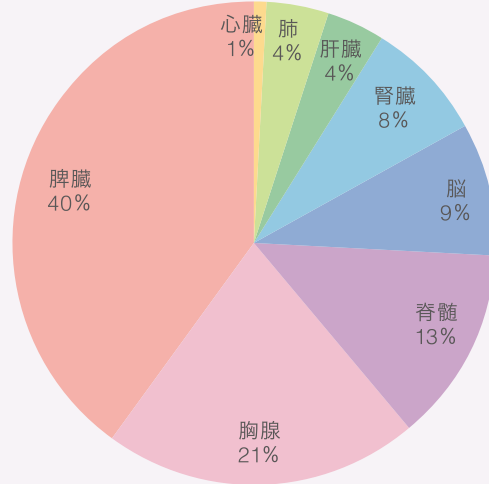


脂肪由来間葉系幹細胞を用いた脊髄損傷の治療における生着率

脂肪由来幹細胞を用いた脊髄損傷の治療において、投与したMSCの13%が損傷部分に生着した。

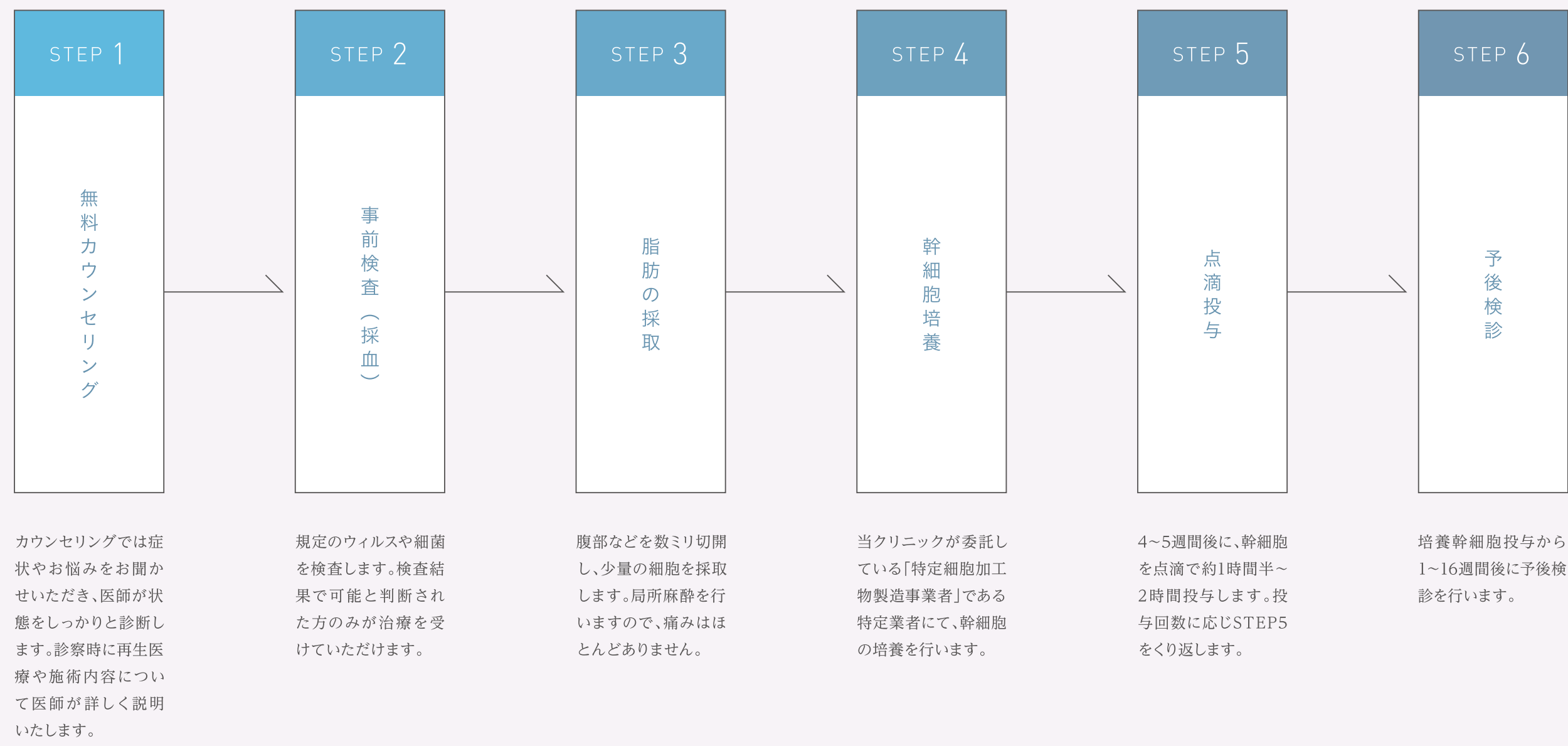
(Prof.SK Kang from Pusan Univ.)

※MSC (Mesenchymal Stem Cell) = 間葉系幹細胞



治療の流れ

当クリニックの再生医療「自己脂肪由来間葉系幹細胞による点滴療法」の
治療の流れをご紹介します。



体験談

※効果には個人差があります。治療の効果を保証するものではありません。

実際に当クリニックの再生医療「自己脂肪由来間葉系幹細胞による点滴療法」を受けられた患者の方のお声をご紹介します。

糖尿病の症状が改善されたようで、 生きるのが楽しくなりました。 [50代後半 男性]

8回に分けて幹細胞を点滴で入れました。治療を受ける前は、長年糖尿病を患っていて、もう治療法も選べない状態でした。いまから思えば当時の気持ちは死の瀬戸際にいるようでした。自分はあと数年しか生きられないだろう、それならおいしいものを食べて生きたい。そんなふうに思っていた私の体重は120kgオーバーでした。

治療を受けはじめると体重がどんどん減り、70kg台まで落ちたのです。体重だけでなく、病院で検査をしたら、ヘモグロビン値や血糖値も安定していて、ほとんど糖尿病の治療をしなくてもいいくらいまでに。主治医が「何をしたのですか？」と驚かれていたほどです。

症状も安定し、痩せてからは、若い人たちとも交流を持つようになってアクティブに動くようになりました。仕事に対しても前向きになれ、いろんなことに挑戦する意欲がわきました。諦めなくて本当によかったです。

痩せたただけなのに、筋肉もつきました。 [50代前半 男性]

特に筋トレをしたわけではありませんが、筋肉がすごくついてきました。ふくらはぎもスポーツ選手じゃないかというくらいにしっかりと。幹細胞の点滴のおかげだろうなと思います。痩せると、たるんでいくイメージがありましたが、筋肉のつき具合を見ても、これは普通の痩せ方と違うと感じました。筋肉だけでなく瞬発力もついたような気がします。親しい友人に会うと、つい腕相撲をしかけてしまいます(笑)。

衰えていた 男性機能も戻ってきたようです。 [50代後半 男性]

重度の糖尿病だったのですが、この病気にありがちな男性機能が落ちるという症状に悩んでいました。それ専門の薬もありますが、副作用もあるのでずっと飲み続けるわけにはいかないし、誰にも相談できずにひとりで悩んでいました。幹細胞の治療の目的はもちろん糖尿病だったのですが、4回ほど点滴を受けてみると、男性機能がまるで戻ってきたようで…。健康にも自分にも自信が持てるようになりました。

心配だった物忘れが、いまははっきり。 [50代前半 女性]

「あれ何だっけ？」と会話していても人や物の名前が出てこないようになってきました。更年期による物忘れなのか、失語症なのかわからなかったのですが、とにかく幹細胞の点滴治療を受けてみることにしたのです。3回目の点滴が終わったあたりから、頭が回転するようになり、言葉もポンポンと出るように。他にも、目の見え方がすごくはっきりしてきました。身体全体が若々しくなるのは本当にうれしいです。

骨折の治りの早さに、 身体の中の若さを実感しました。 [40代後半 男性]

体力の衰えを感じたくない。老いていくのがいやだ。いまのパワフルさを維持していきたい。そんな気持ちで治療を受けました。正直にいうと、半信半疑で受けたのです。1～2回治療を受けたときに、あまり効果を感じられなかったのですが、偶然にも骨折してしまい、その治りがすごく早かったです。整形外科の先生も驚かれていました。きっと幹細胞のおかげだと思います。

ヒト自己活性化NK細胞による がん免疫細胞療法

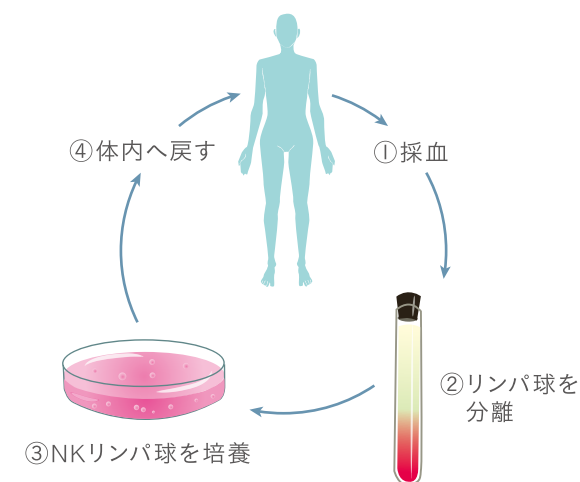
私たちの体内には生まれながらの免疫力があります。これは体内に異物を発見し、排除しようとする、いわば防衛の力です。この力が低下すれば、当然のことながら風邪やインフルエンザをはじめ、感染症やがんなど健康を脅かすさまざまな不調を引き起こしやすくなります。当クリニックでは、免疫細胞を採血によって取り出し、数と質を最大限まで高めた上で体内に戻す、NK（ナチュラル・キラー）細胞を使った「ヒト自己活性化NK細胞によるがん免疫細胞療法」をはじめ、「ヒト自己活性化 $\alpha\beta$ T細胞によるがん免疫細胞療法」、「ヒト自己活性化 $\gamma\delta$ T細胞によるがん免疫細胞療法」を行っています。細胞を活性化させ、免疫力を高めることで、将来のがん発生リスクを抑えることができる画期的な治療法です。

がん予防の新しい健康法

NK細胞とは、免疫システムの最前線で働くリンパ球。全身をくまなく点検し、がん細胞やウイルス感染細胞を見つけ出して攻撃するリンパ球です。加齢はもちろん食事や睡眠、ストレスなどの影響も受けやすいことで知られています。

「ヒト自己活性化NK細胞によるがん免疫細胞療法」は、治療を受ける人の細胞から採取したNKリンパ球を3週間培養し、細胞の数を1,000倍程度に増やしてから点滴で体内に入れる療法です。免疫力を高めるとともに、自分の細胞を使うため身体への負担が少ない治療法としても注目されています。

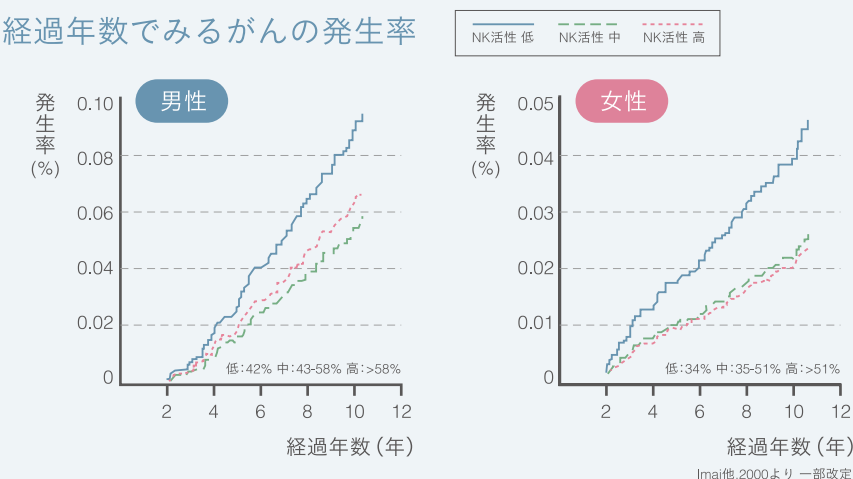
ヒト自己活性化NK細胞によるがん免疫細胞療法



免疫力が低いと、がんの発生率は高くなる。

埼玉県がんセンターでは、世界ではじめて免疫力の個人差と発がんリスクの関係を実証。NK細胞の活性度（NK活性＝4時間以内にNK細胞ががん細胞を殺す能力のこと）を高い・中程度・低い3グループに分けて11年間追跡調査しました。その結果、NK活性の低いグループの人は、他のグループの人に比べてがん発生率が1.7倍に。つまりNK細胞が活性した元気な状態であれば、風邪やインフルエンザにかかりにくくなるだけでなく、がんや感染症のリスクも軽減できると考えられます。

経過年数でみるがんの発生率



当院では「がん抑制遺伝子治療」も行っています。

がん細胞の内側から異常な細胞を制御するがん抑制遺伝子「p53」と、外側から直接攻撃しNK細胞の働きを強化する腫瘍壊死因子「TRAIL（トレイル）」。

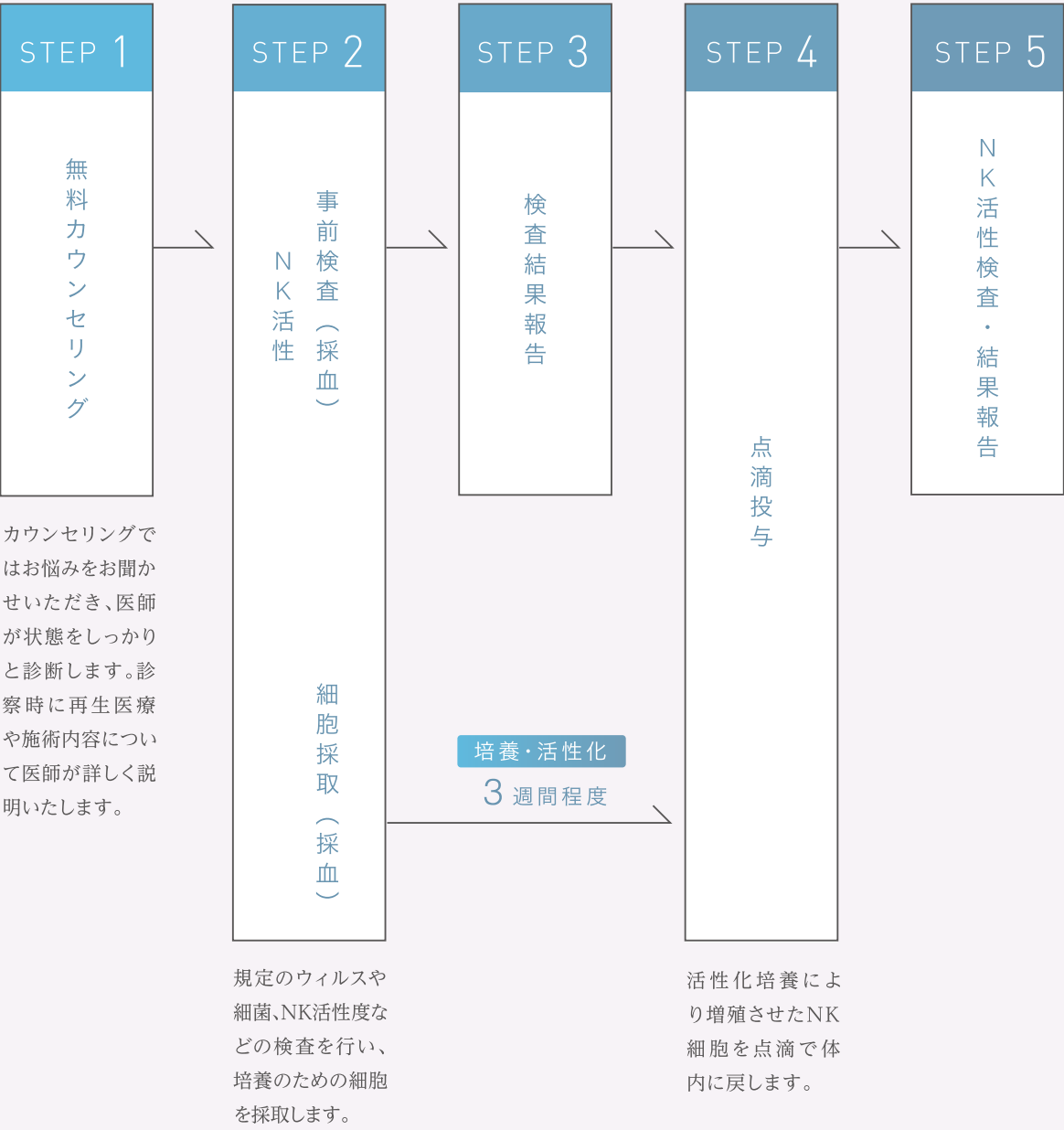
この2つの遺伝子を点滴で体内に投与することで、がんを予防する治療法です。

「ヒト自己活性化NK細胞によるがん免疫細胞療法」と同時に受けていただくことができます。

治療の流れと体験談

※効果には個人差があります。治療の効果を
保証するものではありません。

当クリニックの再生医療「ヒト自己活性化NK細胞によるがん免疫細胞療法」の流れと、
実際に治療を受けられた患者の方のお声をご紹介します。



※「がん抑制遺伝子治療」併用の場合は、医師とのカウンセリング時に詳細な手順をお伝えします。

見えないものだからこそ、
免疫力を高めておきたい。

〔30代後半 女性〕

治療を受ける前に、リンパ球数やNK細胞数、活性度の検査を受けるようになっていて、初回に出てきた免疫年齢がなんと68歳だったのです。実年齢よりかなり上でショックを受け、免疫を高める必要性を感じました。免疫が低いか高いかは、なかなか体感を得られないと聞いていたのですが、5回ほど治療を受けたあとに、検査の結果、免疫年齢が若返っていたので安心しました。

母ががんと闘っていて、
私自身も不安になったのがきっかけです。

〔40代後半 女性〕

母ががんを患い、闘病生活を送っていました。私自身の健康についてもすごく不安になってあらゆる検査をしてきましたが、がんの予防のために健康な人も受けられるNK細胞を用いた免疫細胞療法を探していたところ、このクリニックにたどり着きました。私の治療を見ていた主人も興味を持ち、一緒に受けて免疫を高めることに。夫婦二人で健康への意識が高まりました。

健康だけはお金で買えないから、
免疫力を高めておきたい。

〔30代後半 男性〕

会社を経営しているため、会社のためにも社員のためにも、まだまだ健康でいたい。だからこそできることは何でもやっておきたいと考えています。幹細胞の点滴を先に受けていましたが、がんの予防目的でNK細胞による免疫療法も受けることにしました。健康だけはお金で買えないと思っていましたが、再生医療で得る若々しさと仕事を心の支えにして、元気でいたいと思っています。

Life is Beautiful

人生を美しく 笑顔で過ごすための 再生医療

人間は加齢によって
体の内側だけでなく、
外見にも衰えがあらわれます。

いつまでも若々しく、
いきいきと笑顔で過ごすために。

加齢による肌や頭皮などの
衰えからの回復を目指す
美容と健康を目的とした
再生医療がはじまっています。
線維芽細胞や血小板、
ステムサップを利用し、
肌の組織を再生へと導くことで、
私たちが本来持っている
自然の力を呼び覚ますもの。

それは、これまでの美容医療とは
まったく異なる、
いわば“根本治療”であると
私たちは考えます。

この先の人生を美しく生きる。
そして、笑顔を取り戻す。
身体の内側から
いまと、そして未来の
美しさと健やかさを叶える
新しい治療法を提案します。

肌の再生医療

線維芽細胞

シワ

たるみ

ハリ

ツヤ

私たちの肌には、ハリやうるおい、弾力性などのもととなるコラーゲン、ヒアルロン酸、エラスチンなどが存在しています。これらは肌細胞によってつくり出されますが、肌細胞がストレスや紫外線でダメージを受け、加齢により機能が衰えると、シワやたるみの大きな原因に。当クリニックでは「線維芽細胞」を移植し、肌組織を改善させることで肌本来の若さを取り戻します。

線維芽細胞

ご自身の肌細胞を移植して、シワ・たるみ・ハリ・ツヤを改善

治療の内容

「線維芽細胞」を採取したのちに、専用の施設で増殖・培養し、加齢の気になる部分に移植する治療法です。

加齢によってできた深いシワやたるみ、肌のくぼみなどを、肌の内側からの改善を目指します。



1. 注入直後



2. 2週間~1ヵ月後



3. 半年~1年後



POINT!

線維芽細胞とは？

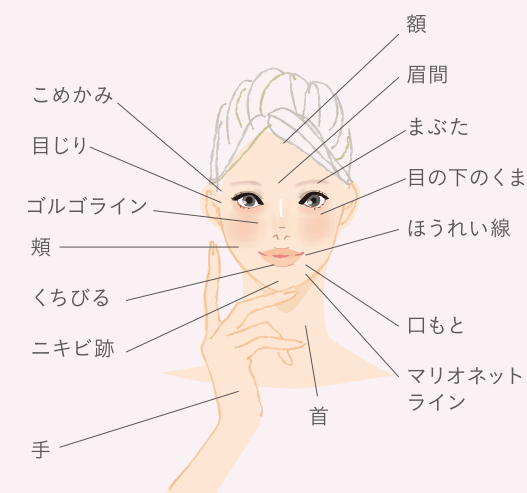
肌内部でコラーゲンなどを産生する「線維芽細胞」。加齢により減少したり、働きが弱くなったりすると、シワやたるみなどの老化現象を引き起こします。「線維芽細胞」の移植により、肌細胞の増殖や分化が促され、コラーゲンやエラスチン、ヒアルロン酸の生成が活発に。肌が若々しくなり、弾力と透明感とうるおいを取り戻す効果が報告されています。



線維芽細胞

適応症状

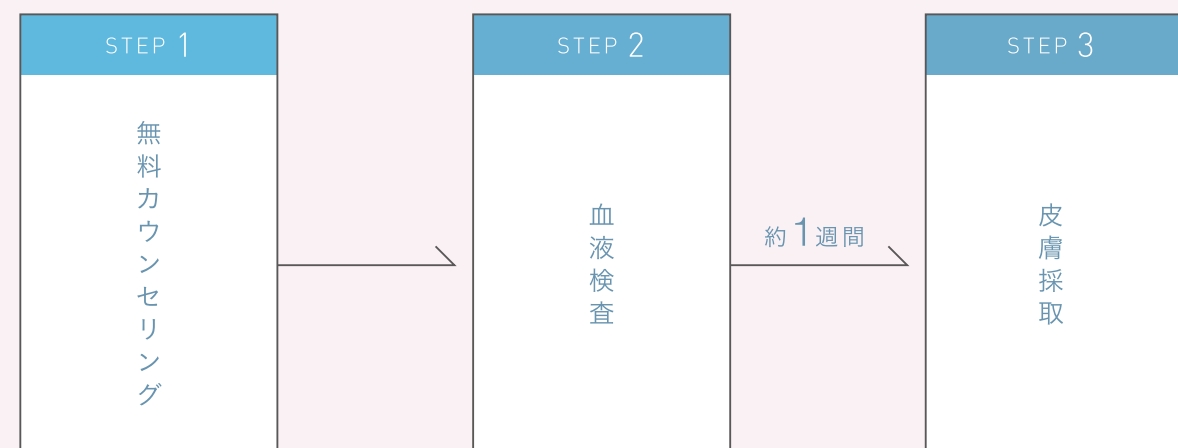
加齢とともにシワやたるみが目立ちはじめ、る部位への効果が期待されます。



治療の流れと体験談

※効果には個人差があります。治療の効果を
保証するものではありません。

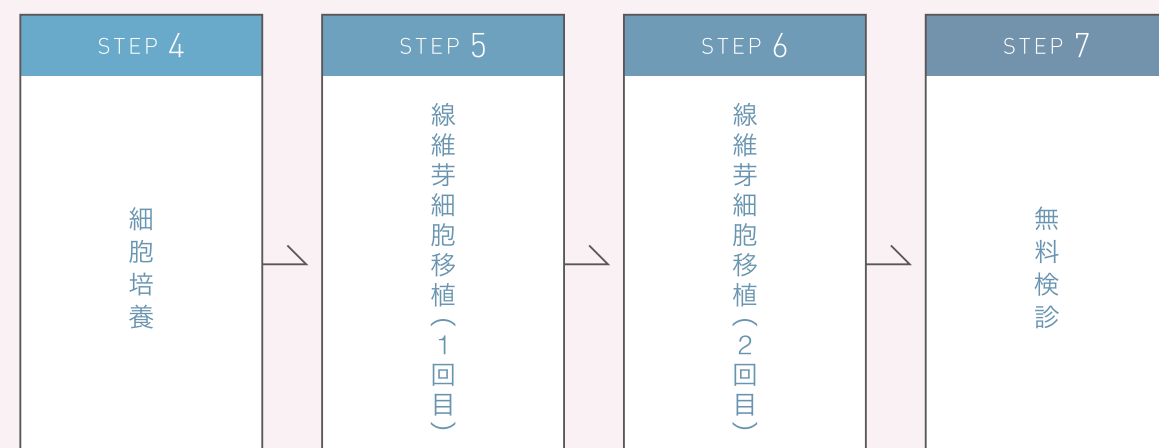
当クリニックの肌の再生医療「線維芽細胞移植」の流れと、
実際に治療を受けられた患者の方のお声をご紹介します。



カウンセリングでは症状や
お悩みをお聞かせいた
だき、医師が状態をしっかりと
診断します。診察時に再生
医療や施術内容について医
師が詳しく説明いたします。

血液検査を行います。

約1週間後に、耳の裏から
細胞を培養するための米粒
大の皮膚を採取します。麻
酔を使用するため、痛みの
心配がありません。さらに
培養に使用する血液を採取
します。



当クリニックが委託してい
る特定細胞加工物製造事
業者にて、採取した皮膚か
ら線維芽細胞を抽出し、
約10,000倍に増殖培養し
ます。

皮膚採取から約5週間後
に、約10,000倍に培養し
た線維芽細胞を、肌に移
植します。真皮線維芽細胞
が、衰えた肌組織を修復し
はじめます。

2週間後にふたたび線維芽
細胞を、同じ部位に移植し
ます。2回続けて移植する
ことで、細胞の定着をより
良くすることができます。

移植してから数ヵ月後に、
無料検診をおすすめしてい
ます。医師が経過について
説明いたします。2回目以
降は、ご希望により3回分
の培養細胞を細胞バンキ
ング*として凍結保存する
ことが可能です。

※細胞バンキング：細胞保管には別途保管料が発生します。また移植ごとに別途再培養費用が発生します。

毛穴や目の下のたるみが、
目立たなくなりました。

〔30代後半 女性〕

30代になって、肌の衰えを感じるようになりました。ヒアルロン酸などの注入は人工のものを入れるので何かリスクがありそうな感じがして…。また効果が持続しないとも聞きました。でも線維芽細胞の治療は受ければ受けるほど、自分の細胞を使うため維持する力が高くなっていいかと思いました。毛穴やハリなどの悩んでいるところだけでなく、顔全体が若返りしている感じがしてとても満足しています。

気にしていた首のシワが
薄くなってきました。

〔40代後半 女性〕

顔はもちろんですが、首のシワにも悩んでいました。いままで美容外科などのいろいろなクリニックで診ていただいても、いい治療法が見つかりませんでした。そんなときに、線維芽細胞が首の肌も治療できると聞き、治療を受けることに。長年悩んできた首のシワがうっすらとよくなってきています。首だけでなく顔はもちろん手の甲にもいいみたいで、これからが楽しみです。

目のまわり、目じり、
ほうれい線によかったです。

〔60代後半 女性〕

これまでヒアルロン酸やボトックスの注入などを受けてきましたが、時間が経つと元に戻ってしまいます。治療を続けるか悩んでいたときに、線維芽細胞移植のことを知りました。速効性はなくても、自分の細胞だからかどんどんよくなっていく気がします。時間が経てば、エラスチンやコラーゲンが増えてくるそうで、肌の保湿力もついてきました。そんな私を見て、夫も治療を受けはじめました。

肌の再生医療 PRP (多血小板血漿)

シワ シミ 肌の凹凸

もうひとつの肌の再生医療として、当クリニックで行っているのが、PRP(多血小板血漿)を使用したエイジングケアを目的とする治療です。PRPには肌のシワやシミ、凹凸などを改善する成長因子が多く含まれることがわかっています。肌の成長因子の働きを促すことで、ハリやうるおいのある、シミや凹凸のない肌を目指します。

PRP (多血小板血漿)

ご自身の多血小板血漿を注入して、シワやシミ、肌の凹凸を改善

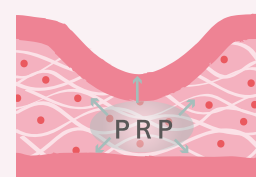
治療の内容

血液を採取したのちに、遠心分離機でPRP (多血小板血漿)を取り出し、加齢の気になる部分に注入する治療法です。

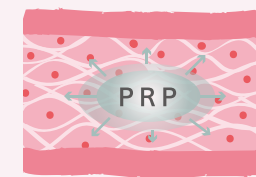
PRPに多く含まれるFGFなどの「成長因子」がコラーゲンの生成や表皮の成長などを促すことで、シワやシミ、肌の凹凸などの改善をサポートします。



1. 注入直後



2. 2週間~1ヵ月後



3. 半年~1年後



コラーゲンの増加
+皮膚の修復効果

POINT!

PRPに含まれる成長因子

FGF

組織を修復
コラーゲンの産生
ヒアルロン酸の産生

EGF

上皮細胞の成長
血管新生、傷の治療を促進



PDGF

細胞増殖・血管の新生、修復
コラーゲンの産生

VEGF

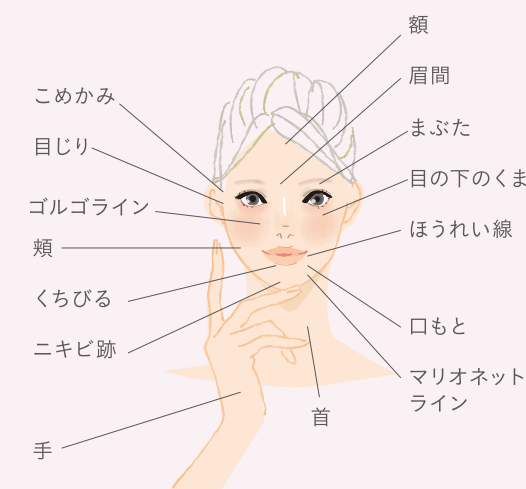
血管内皮細胞の増殖・新生

TGF- β

上皮細胞・血管内皮の増殖・新生
傷の治療を促進

適応症状

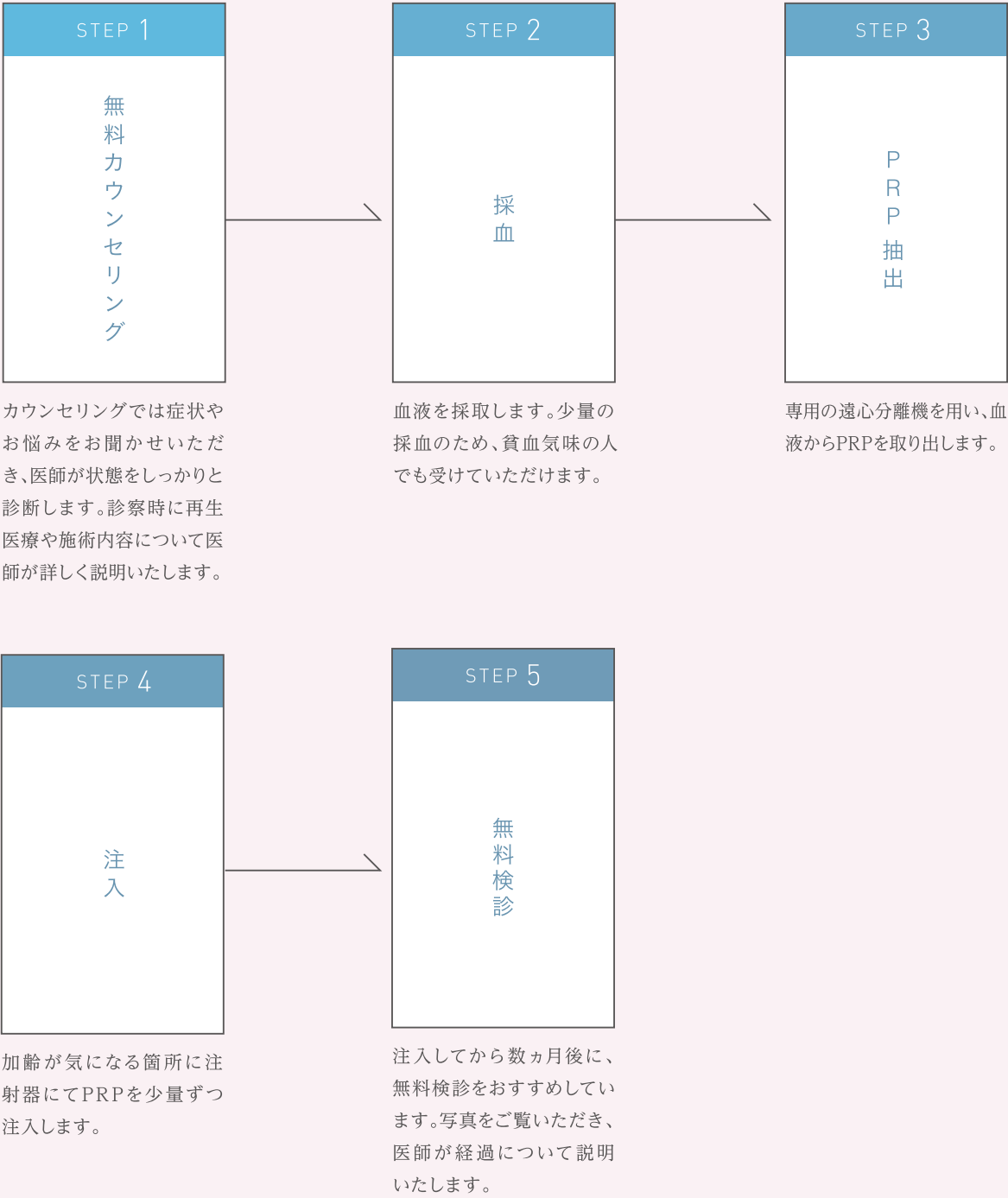
加齢によってできたシワやシミ、肌の凹凸などを肌の内側から改善します。



治療の流れと体験談

※効果には個人差があります。治療の効果を
保証するものではありません。

当クリニックの肌の再生医療「PRP(多血小板血漿)注入治療」の流れと、
実際に治療を受けられた患者の方のお声をご紹介します。



目の下のクマの悩みが 消えました！

〔20代前半 女性〕

自分自身の血液を使って肌を再生すると聞いて、治療前から期待していま
した。一番気になっていたのが、目の下のクマです。私のクマは、疲れや血行不
良が原因の青クマではなく、確実に肌の衰えによるものでした。治療をはじめ
て肌そのものが元気になっていくのを感じました。いまでは目の下のクマがほ
とんどなくなりました。

ほうれい線が薄くなり、 鏡を見るのが楽しい。

〔30代後半 女性〕

治療後約2年ですが、ほうれい線の違いが目に見えてはっきりとわかります。
それに、とっても自然なところも気に入っています。肌の再生医療は効果が期
待できる根本治療だとか。私自身の肌が再生されることで、クマが消えたり、
シワが目立たなくなったりするようです。毎日、鏡を見るのが楽しくなりました。

諦めていた 目のくぼみがなくなりました。

〔50代後半 女性〕

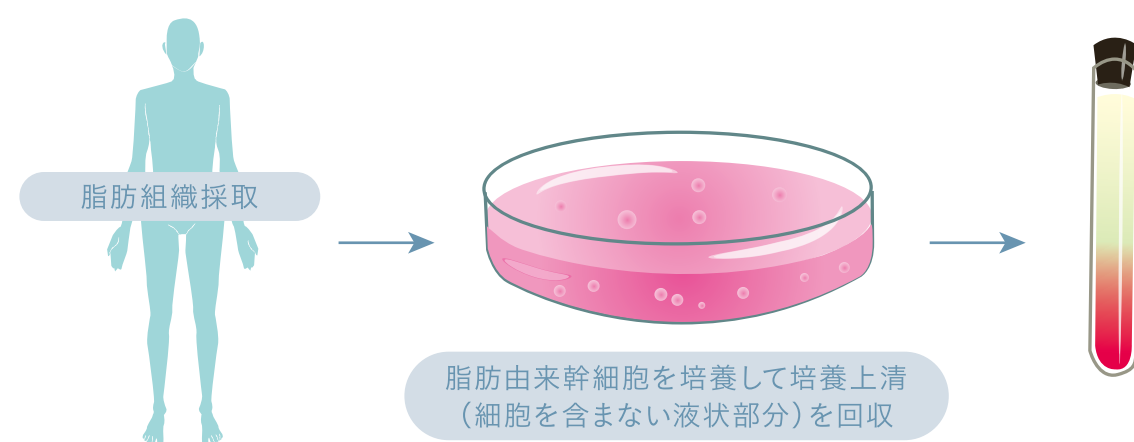
目の上の皮膚のハリがなくなったせいか、くぼんでしまって老けて見えるよう
になったのです。目もとはデリケートな部分ですし、なるべく安全な方法を探し
ていたのですが、PRPなら日帰りで安心だし試してみたいと思いました。肌本
来のハリが戻ってきて、くぼみもほとんど気にならなくなりました。目もただけ
でなく顔全体もふっくらとしてきて喜んでいきます。

再生医療の応用でつくられた 高純度培養上清液ステムサップ

皮膚再生に必要な生理活性物質を含む「ステムサップ」を、体内・肌・頭皮に直接与えるエイジングケア目的の治療です。
安全で効果の高い生理活性物質を内外から取り入れるため、身体や肌、髪への効果を期待できます。

高純度培養上清液ステムサップとは

脂肪由来の幹細胞を培養する際に得られる液体部分。
培養中に放出された生理活性物質を含んでいることから、老化した組織や傷ついた組織を助ける目的で
使用しています。 ※当クリニックで採取した脂肪由来のオリジナル高純度幹細胞上清液です。



身体への応用（疲労回復・免疫向上・体内機能の回復）

高純度培養上清液には、肌・皮膚を再生する因子、血管を増殖させる因子、
神経を修復させる因子、免疫を調整する因子、骨形成を促進する因子などが含まれています。

ステムサップを点滴や鼻腔から導入することにより、
血管内や脳内へのダイレクトな作用が期待できます。

肌への適応（美肌治療）

ステムサップの導入により内部からコラーゲン生成に
アプローチするため、老化した肌や体の機能回復が
見込めます。

肌からの導入だけでなく、点滴で体内に直接投与する
ことにより、肌本来の自己再生能力を高めて、コラー
ゲンやヒアルロン酸の生成を活性化させます。



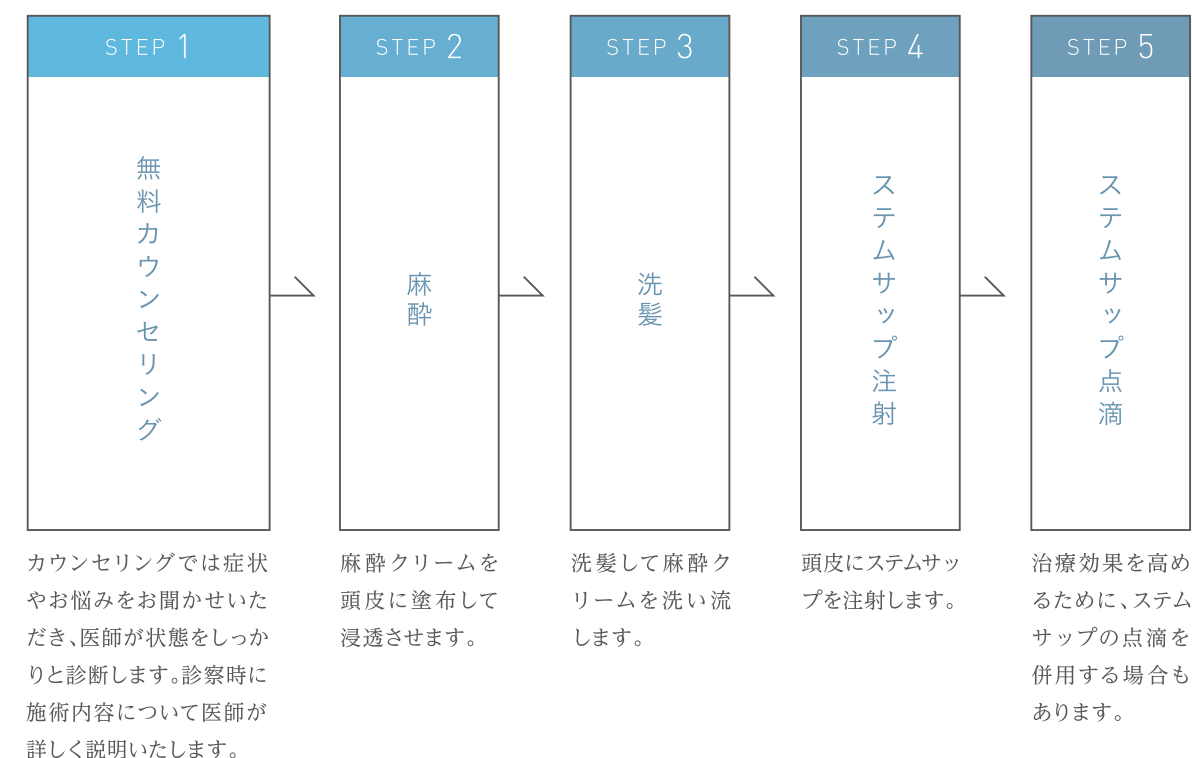
髪への応用（毛髪再生）

薄毛・抜け毛の悩みに、育毛を促すサイトカインが含まれた

高純度培養上清液ステムサップを使って行う治療です。

薬物や異物を使わずに、体の内側と外側の両面から育毛を叶えます。

この治療では、ストレスや老化などによって、体内バランスが崩れることで引き起こされる
薄毛や抜け毛の大きな要因と考えられる“成長因子の不足”を補います。



髪の毛が少なく、 出産後の抜け毛も心配で治療を受けました。

〔30代後半 女性〕

もともと髪の毛が細くコシがない上に、年齢とともに薄さも気になるように。い
ろんなヘアスタイルが楽しめないことも悩んでいました。これから子供の出産を
予定しているので、産後は髪の毛が抜けると聞いてさらに心配に。いまのうちに
できることを集中的にやっておきたいと思って治療を受けました。徐々に効果が
あらわれてくるのを楽しみにしています。

※効果には個人差があります。治療の効果を保証するものではありません。

Frequently Asked Questions

よくあるご質問

再生医療についてよくいただくご質問をまとめました。ここにご紹介している内容以外のご質問やご相談は当クリニックまでお問い合わせください。

〈内からの再生医療編〉

Q1

幹細胞の投与は、どのクリニックでも受けられるのですか？

A1 いいえ、受けられません。

実施再生医療技術ごとに再生医療等提供計画を作成し、厚生労働省が認可した特定認定再生医療等委員会によって基準に適合しているか否かの審査を受けなければなりません。
当クリニックは再生医療等提供計画を提出し、計画番号を取得した再生医療提供機関です。幹細胞の投与のみならず、線維芽細胞移植術、NK細胞を用いた免疫療法、PRPによる皮膚再生も同様です。

Q2

1回に投与する幹細胞の数はどれくらいですか？ 制限はありますか？

A2 個人差はありますが、およそ8,000万～1億5,000万個程度です。安全性を重視し、幹細胞の静脈投与は1回につき2億個までとさせていただきます。

Q3

脂肪はどうやって採取しますか？ どれくらい必要ですか？

A3 数ミリ程度お腹を切開し、細いカニューレを挿入して吸引します。局所麻酔を施しますので、術中の痛みは心配いりません。入院の必要もありません。術後、少しお休みいただいてからお帰りいただけます。1回に採取する脂肪の量は約3～20gになります。

Q4

幹細胞の投与に副作用はありますか？ がんになりませんか？

A4 ご自身の幹細胞を培養し投与しますので、副作用はほとんどあらわれません。厚生労働省への届け出に沿った安全管理を徹底して、投与を行っています。
また骨髄由来の幹細胞と違い、がん化のリスクが極めて低く、いまのところそういった報告はされていません。

Q5

NK細胞によるがん免疫細胞療法では、がんの治療ができるのですか？

A5 いいえ、当クリニックではがんの治療は行っておりません。
あくまで予防措置として、将来病気にかかる可能性を下げるために行う療法です。
NK細胞を使った免疫療法は、がんになってからしか受けられないクリニックが多いのですが、当クリニックは病気になる前から受けられる数少ないクリニックのひとつです。

Q6

NK細胞によるがん免疫細胞療法は身体に負担がありますか？

A6 ご自身の血液の細胞を増殖・活性化し、体に戻す点滴だけの治療で、身体への負担は非常に少ない治療法です。詳しい治療法やご不安な点は、お気軽にお問い合わせください。

〈外からの再生医療編〉

Q1

再生医療でのエイジングケアと、
ヒアルロン酸注入などの美容医療との違いは何ですか？

A1 2つの治療には下記の表のような違いがあります。

	治療の内容	治療の効果
再生医療での エイジングケア	ご自身の細胞や血液から採取した線維芽細胞やPRP(多血小板血漿)を使用。	1度の移植・注入でおおよそ2～3年。定期的(1年半～2年に1回程度)な移植・注入により肌が改善された状態を維持でき、長期的に老化速度を遅らせる。
ヒアルロン酸 注入	ヒアルロン酸などの異物を使ってシワを埋める。	半年～1年程度で薬剤が体内に吸収され、元の状態に戻る。

※効果には個人差があります。

Q2

治療や効果に年齢制限はありますか？

A2 特にありませんが、ご自身の細胞を移植・注入して真皮層の肌細胞を増やす治療のため、できるだけ早い時期に治療を受けられることをおすすめします。ダメージが少ない皮膚より細胞を抽出・培養して、老化の気になる部位に移植・注入することで、老化現象の改善効果が高まります。また「肌の再生工場」といわれる肌細胞を移植・注入しているので、“老化を遅くする”効果も期待できます。

Q3

痛みや腫れが心配なのですが…

A3 治療中は痛みの軽減のため、表面麻酔を行います。治療に使う注入針は皮膚と平行になるよう曲げて使用するため、針が深く刺入することはありません。治療中、痛みが強い場合は、麻酔を追加するなど、痛みや不安を少しでも軽減する治療を心がけています。

Q4

間違って他人の細胞を移植・注入されることはないでしょうか？

A4 ご安心ください。厳密なID管理や、独立したクリーンベンチレーションで、一人ひとりの細胞を個別に扱っていますので、他の人の細胞を間違えて使うことはありません。さらに当クリニックが委託している管理会社では治療前にDNAの一致試験を行い、遺伝子レベルでのチェックを実施し、最大限の安全性を追求しています。

Q5

細胞を培養する過程で、
細胞ががんなどの病気になることはありませんか？

A5 肌の再生医療に使用する細胞はがん化することはありません。

再生医療でもES細胞やiPS細胞などの多機能な性質が、がん細胞と類似した3つの性質を持つため、がん化が話題に上がります。

性質1) 非対称性分裂(asymmetric division)
違う細胞に変化し、分裂をくり返す。

性質2) 不死化(immortal cell)
時期が来ると死滅する正常な細胞とは異なり、がん化した細胞は死ぬことがない。

性質3) 自立的増殖
通常の細胞は異常増殖を抑えるが、がん化した細胞は自ら増え続ける。

一方、肌細胞(真皮線維芽細胞)は、上記3つの性質を持たず、肌にしかない細胞のため、安全な治療として認められています。

もっと健康に、もっと美しく 内外からの再生医療の コンビネーション治療

より高い健康・美容ニーズに応えるために

当クリニックではお悩みやニーズに合わせて、先進の再生医療を組み合わせたご提案もしています。
それぞれ効果が期待できるところを掛け合わせた治療です。詳しくはカウンセリング時にご相談ください。

自己脂肪由来 間葉系幹細胞による点滴療法 × 線維芽細胞移植

脂肪由来間葉系幹細胞を投与して加齢による身体の不調を改善しながら、
採取した線維芽細胞をシワやたるみが気になる部位に注入し、
身体の内側と外側のエイジングケアを図るコンビネーション治療です。

ご自身の幹細胞を増殖・活性化させて体内に戻し、細胞の組織の修復を促しながら、加齢による身体の不調を改善を図ります。同時に耳の裏から米粒大の皮膚を採取し、真皮線維芽細胞を抽出・増殖します。シワやたるみの原因は、コラーゲンやヒアルロン酸、エラスチンなどの「肌の三大美容成分」を生み出す線維芽細胞の質と量が加齢により低下するため。約10,000倍に増殖させた線維芽細胞を、肌の衰えた部位に移植し、身体の内と外のダブルでエイジングケアを行います。



自己脂肪由来 間葉系幹細胞による点滴療法 × ヒト自己活性化NK細胞 によるがん免疫細胞療法

脂肪由来間葉系幹細胞を投与して加齢による身体の不調を改善しながら、
ご自身のNK(ナチュラル・キラー)細胞を使った免疫治療を同時に行います。
衰えた細胞の修復を図りながら、免疫力を高めるコンビネーション治療です。

ご自身の幹細胞を増殖・活性化させて体内に戻し、細胞の組織の修復を促しながら、加齢による身体の不調を改善を図ります。同時にご自身の血液から培養するリンパ球を取り出し、がん細胞を害する能力が高いNK細胞を活性化・増殖して点滴で体内に戻します。現在、障害の原因となっている症状の改善を促しながら、将来の病気に備えるダイナミックな健康法です。



高純度培養上清液 ステムサップ(点滴) × (点鼻) × (イオン導入)

脂肪由来幹細胞を培養した際に得られるステムサップを、
肌と体内に直接与えるエイジングケアです。
肌の小ジワやシミ、くすみにアプローチできるトータル治療です。

百数十種類の生理活性物質を含むステムサップを、それぞれ点滴、点鼻、イオン導入という異なった3種類の方法で、同時に体内に取り込みます。ステムサップは、身体の内部からコラーゲン生成にアプローチし、肌本来が持っている自己再生能力を高めて、コラーゲンやヒアルロン酸の生成を活性化させます。同時に体調の向上や、老化した身体の機能回復も図ります。



その他の美容医療のご案内

再生医療と美容医療を行う当クリニックでは、さまざまな治療の組み合わせが可能です。再生医療と同時期に受けられるもの、受けられないものがあります。詳しくはカウンセリング時にご相談ください。



スキンケア

ピーリング	古い角質を取り除き、新陳代謝を促す。シミ、くすみ、肝斑、小ジワ、軽度のたるみに。
イオン導入	ビタミンCなどの美容成分を真皮層まで送り込む。シミ、くすみ、肝斑、ニキビ跡に。
エンビロン	イオン導入・超音波導入を行える専用機器で美容成分を真皮に届ける。シミ、くすみ、肝斑、ニキビ、ニキビ跡に。

エイジングケア・美顔（美容医療機器）

フォトフェイシャル（M22）	顔全体に幅広い波長域を含むIPLを照射。沈着メラニンにダメージを与え、コラーゲンを活性化する。小ジワ、毛穴の開き、たるみなどの改善に。
ウルトラセル	イントラセル・イントラジェン・高密度焦点式超音波（HIFU）の3種類の照射が可能。肝斑やくすみ、毛穴、小ジワ、たるみの引き締め、リフトアップに。
スペクトラ	2種類の波長レーザーとロングパルスを搭載。シミや肝斑、そばかすだけでなく、あざや刺青の除去、毛穴の開きや黒ずみ、ニキビに。
フラクショナルレーザー	熱による創傷治癒を行う。クレーターでくぼんでいるニキビ跡やシミ、妊娠線に。
炭酸ガス（CO2）レーザー	炭酸ガスのレーザーで1mm以下の病変まで切除。盛り上がったイボや根の深いホクロに。
糸リフト	特別な糸を使用して皮膚を引き上げる。顔や首のたるみが気になる部分に。

注入治療

ヒアルロン酸注入	加齢による症状が気になる部分に注入。ほうれい線や目の下のシワ、頬のくぼみに。
ボツリヌストキシン注射	筋肉の収縮を弱める成分を注入。目じりや眉間の表情ジワ、顔のエラ、ふくらはぎに。

水光注射	専用の機器を用いて真皮内に美容成分を注射。シワやたるみの他、くすみ、乾燥、毛穴に。
肩こり・腰痛治療（ダイレクトポイント注射）	慢性的に緊張している筋肉にダイレクトポイント注射を行い、炎症を抑え、血流を改善。

痩身・部分痩せ・小顔

脂肪溶解注射	3種類のペプチドを配合。蓄積された脂肪の分解を促進し、新たな脂肪の合成を抑制する。
BNLS注射	脂肪溶解を促すとともに、老廃物の排出を促す。部分痩せや小顔、セルライト対策に。
リポセル	超音波の力で、脂肪細胞を壊して排出を促す。お腹、二の腕、太もものなどの部分痩せに。

美容点滴・注射

美肌アンチエイジング点滴	抗酸化作用の高い成分を厳選。全身の老化を予防し、肌にハリとツヤを与える。
痩身点滴	脂肪燃焼・代謝促進の働きがある成分を配合。痩せやすく、リバウンドしにくい身体に。
美白点滴	美白効果の高いビタミンCなどを配合。顔のシミ・くすみ予防や全身の美白に。
NHC点滴	ビタミンB・C、肝機能保護剤などを高濃度で配合。体の不調改善や滋養強壮などに。
高濃度ビタミンC点滴	内側から美白を叶える。保湿、シミ・くすみ・シワ・アトピー、ニキビや吹き出物に。
プラセンタ注射	豊富な栄養素と細胞分裂を促す多様な生理活性物質を含む。シミ、シワ、たるみなどの肌の悩みの改善や、更年期や不眠、肩こりなどの悩みにも。
疲労回復注射	肝機能回復や疲労回復を促す各種ビタミンを配合。免疫力や新陳代謝をサポート。

医療レーザー脱毛

ジェントルマックスプロ	2種類の波長のレーザーを搭載。さまざまな部位や肌タイプに合わせた脱毛が可能。
-------------	--